

令和4年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事業報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

I	令和4年度の取組	1
II	令和4年度目黒区文化ホール事業報告	7
	第1 自主事業	7
	第2 受託事業	6 1
	第3 その他事業	7 1
III	令和4年度目黒区美術館事業報告	7 7
	第1 自主事業	7 7
	第2 受託事業	8 9
	第3 その他事業	9 5
IV	処務の概要	
	1 重要な契約の概要	1 0 3
	2 財団運営会議の開催状況	1 0 3
	3 理事会及び評議員会の開催状況	1 0 4
	4 評議員、理事及び監事名簿	1 0 5

I 令和4年度の取組

令和4年度は、目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）開館20周年、目黒区美術館（以下「美術館」という。）開館35周年の節目の年で、当財団の目的である芸術文化の振興を図るため、周年事業を含め様々な舞台芸術や美術に関する事業に取り組みました。

また、目黒区の芸術文化の拠点となる文化ホール及び美術館の指定管理者として、施設の安全確保と利用者の利便性向上に努めてまいりました。

令和2年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は、4年8月頃に感染者数のピークを迎えましたが、4年度も引き続き、国、東京都、目黒区及び業界団体が策定するガイドラインなどを遵守し、感染症対策を徹底したうえで、施設利用者や公演主催者等の理解のもとに、周年事業はもとより、舞台芸術や美術に関わる様々な事業を計画的に実施いたしました。

さらに、多くの区民の皆様に様々な鑑賞や参加の機会を提供できるよう、文化ホールと美術館を拠点にインターネットを活用した映像等の配信やワークショップの実施、SNSを活用した情報発信、アウトリーチプログラム事業などにも積極的に取り組みました。

一方、財務面では、他団体助成金や協賛金などの積極的な獲得や事業の執行方法の工夫等により効率的な運営に努めました。財団の基幹的収入である施設利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響が最小限にとどまり、回復傾向にありますが、持続可能な財団経営に向けて、財政基盤の更なる強化が必要です。

今後も地域との連携を図りながら、区民一人ひとりが心豊かに暮らしていけるよう、職員一丸となって事業を展開し、目黒区の目指す「文化縁」の充実と芸術文化の振興・発展に貢献できるよう努めてまいります。

1 目黒区文化ホール

令和4年度は、開館20周年を迎え、自主事業37事業、区からの受託事業2事業及び指定管理事業1事業を実施し、新型コロナウイルス感染拡大前と同規模の事業を展開することができました。

併せて、区補助金や助成金、協賛金を活用し、区民はじめ多くの方々にこれまでの活動への理解と支援に感謝の意を伝えるとともに、“「きっかけ」のその先へ”をキャッチコピーとして掲げ、今後のホールの活動への興味や関心を高める契機としました。

なお、事業の実施に当たっては、ホールのガイドライン等に基づき感染症対策を徹底し、利用者や来場者が安全で安心して利用できるよう取組を進めました。

(1) 鑑賞事業

ジャンルが偏らないことなどに留意し、幅広い年代の区民に向けて良質な公演の鑑賞機会を提供することを目指し、20周年事業を中心とした主催事業9事業、共催事業6事業を実施しました。主な主催事業は次のとおりです。

ア 開館20周年イベント

区民が親子や家族連れで楽しむことのできるイベントをめぐろパーシモンホールの全館を活用して実施しました。

大ホールでの新進気鋭の吹奏楽団のコンサートでは、区内中学校吹奏楽部と1曲共演し、また、小ホールでは区内小学校や中学校で実施しているアウトリーチプログラムの出演者による多様なジャンルの演奏会を開催しました。そのほか、大ホールのホワイエでは0歳からのコンサートや、普段見ることができない舞台裏をスタッフが案内するバックステージツアーを実施しました。

イ 未来の音 ガラ・コンサート

若手演奏家を支援し、区民に紹介する演奏会シリーズ「未来の音」を継続して実施していますが、開館20周年事業・区制90周年事業としてシリーズの過去の出演者による協奏曲3曲を一度に楽しむことができる祝祭感のあるオーケストラ公演を開催しました。

ウ フレッシュ名曲コンサート

若手指揮者と、若手演奏家をソリストとして起用するオーケストラ公演を開館20周年事業として実施しました。

なお、公演の様子はアーカイブ配信し、多くの方に視聴していただきました。

エ ミュージアムコンサート

目黒区美術館「フジタが目黒にやって来た」展の関連企画のコンサートを美術館のワークショップ室で開催しました。

画家・藤田嗣治が活動した20世紀初頭のパリの情景を想起させるジャズナンバーを、藤田嗣治に扮したタップダンサーのパフォーマンスと共にお届けしました。

このほか、多彩な活動を行っている主催者と協力した共催事業を実施しました。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主催事業は次のとおりです。

ア 第11回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサート

雨天のため初めて大ホールホワイエを避難場所として実施しました。

イ 気仙沼漁師カレンダー展

目黒区の友好都市である気仙沼市の漁師を撮影したカレンダー展を実施しました。

このほか、地域で優れた芸術文化活動を行う団体への支援の一つである共催事業は、17事業を実施しました。

(3) 体験・普及事業

区の補助金のほか、他団体の助成金や財団自らの財源も充てた次の3事業を実施しました。

ア 開館20周年記念 広報特別ワークショップ

ウェブでの広報としてコマ撮りアニメーションのPR動画を制作するにあたり、動画の中で登場するキャラクター人形の創作ワークショップを実施しました。

イ 子どものためのワークショップ

小学生と中学生対象の「ダンス」コースと、中学生と高校生を対象とした「演劇」コースを実施し、実演芸術に親しみ、自ら表現し創造性を育む機会を提供しました。

ウ アウトリーチプログラム

コロナ禍でさらに鑑賞機会が減った子どもたちの身近な場所である学校などに様々なジャンルのアーティストとともに赴き、生の演奏を間近で聴き、プロのアーティストと交流する機会を提供しました。

また、初めて区内私立学校や都立高校でも実施しました。

(4) 受託事業・指定管理事業

ア 目黒区文化祭

13公演実施しました。

イ めぐろオータムアート

美術館と連携し、音楽と美術のワークショップを小ホールで開催しました。

また、旧前田家本邸洋館ではバロック・ハープ&ソプラノのコンサートを実施しました。

ウ 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト

開館20周年事業として、現代音楽の巨匠の作品を世界で活躍する打楽器奏者によるプロデュースで、大ホール・小ホールでの公演や作品解説レクチャー、区民参加型ワークショップを通して紹介するプロジェクトを実施しました。

(5) 貸館事業

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、3年度に引き続き、会場での抽選会を行わず、メールや郵送等での事前申込制による抽選を実施するなど、利用者に安全・安心して施設を利用していただけるよう、ホールのガイドラインを適宜更新し、対応しました。

各施設の年間利用率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部施設の利用制限がされた中、大ホールは81.6%、小ホールは85.2%、中目黒GTプラザホールは78.3%、諸室は70.1%となるなど、ホールの利用率は3年度に比べ多少増加し、回復傾向にあります。

また、日常点検や定期的な保守点検等を通じて安全確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めました。

2 目黒区美術館

令和4年度は、展覧会事業として5つの展覧会を中心に、ワークショップなどの教育普及事業を進めました。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が一部にありましたが、スケジュール通りの展覧会開催をはじめ、前年度では実施が困難であった対面式のワークショップなど、概ね予定していた事業を行うことができました。

(1) 展覧会事業

ア 自主事業展覧会（3展）

- ① 「東京・区立美術館ネットワーク連携事業 東京の猫たち」展
- ② 「目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱」展
- ③ 「コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に」展

イ 指定管理事業（2展）

- ① 「コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た」展
- ② 「めぐろの子どもたち展」

ウ 区からの受託事業

「めぐろオータムアート」

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術の融合をテーマに、ワークショップなどを実施しました。

エ 展覧会の入館者数

33,647人（各展覧会の合計目標を約3,600人上回る。）

報道機関等への広報等により、情報の掲載や問い合わせも多くありました。

(2) 教育普及事業

教育普及事業については、美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育まれるような事業を展開しました。

また、ワークショップ事業は、オンラインの活用やソーシャル・ディスタンスを確保したうえで、セミナーとワークショップを開催しました。

ア ワークショップ

① ワークショップ夏

「目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱」に関連したセミナーやワークショップを開催しました。

② ワークショップ春

画材や素材への興味を引き出し、創造へとつなげていく内容や、知っているようで知らない、又は知る機会がない「美術」のあれこれを取り上げたセミナーやワークショップを開催しました。

イ 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が1966年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩くガイドツアーを開催しました。

ウ 大人のための美術カフェ

展覧会担当学芸員が、担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定して話しました。

エ トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム（TVT）の運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラムを実施しました。

オ 美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の現地調査を多数行ってきた当館の秋山前館長が、自ら撮影した貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について解り易く語る連続講座を開催しました。

カ ギャラリーツアー

近年、学校での美術の授業時間の確保が難しくなっているため、学童保育クラブや学校の美術部などに働きかけ、多くの児童・生徒に来館して貰いました。

(3) 調査研究

作品の保管・活用は、所蔵作品の保存・修復のほか、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行いました。

所蔵作品や所蔵作家だけでなく最新の美術の動向にも精通し、斬新な視点を構築するために、これまでと同様に調査研究に努め、魅力的な展覧会の開催を目指しました。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区民等への芸術文化活動支援の一環として、区展及び目黒区美術家協会展など区内3美術団体の展覧会開催への協力・支援を行いました。

また、広報活動に関しては、YouTube 公式ページによる動画配信やSNSを活用した情報発信などに積極的に取り組みました。

(5) 区民ギャラリーの運営

利用率は、年間で95.0%となり、令和3年度と比べ14.3ポイント増加し、キャンセルも2件のみで、コロナ禍以前の利用率に戻ってきました。

空き状況については、これまでの、当館ウェブサイトでの情報公開、メールマガジンによる情報配信、チラシの配布に加え、SNS上での配信も行いました。

Ⅱ 令和4年度目黒区文化ホール事業報告

※ 入場者数は実際に入場した人数を示し、チケット販売数とは異なる。定員は、各公演のチケット販売時に適用されている国・都による新型コロナウイルス感染症対策の開催条件に従って設定している。

第1 自主事業（定款第4条第1項第1号）

1 鑑賞事業

(1) 主催事業（9事業＝18公演）

No.	内容	
1	公演名	めぐろパーシモンホール開館20周年記念 白井圭〈ヴァイオリン〉×北村朋幹〈ピアノ〉デュオ・リサイタル
	公演日	令和4年8月31日（水）
	会場	小ホール
	料金等	[全席指定] 一般3,500円 学生2,000円
	入場者	172人【定員200名】／完売
事業内容	<p>めぐろパーシモンホール開館20周年を記念した室内楽公演では、当ホールには2007年に10代半ばでショパンのピアノ協奏曲第1番を演奏してから未来の音シリーズなどにも出演しているピアノの北村朋幹、2014年の日本の若手実力派とシュトゥットガルト放送響の名手によって結成された「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ」としての出演をはじめ、アウトリーチプログラムへの出演も多いヴァイオリンの白井圭という、今や日本のクラシック界で重要な存在となった音楽家2名の初の共演が実現した。</p> <p>この2名の初顔合わせでのバルトークの2つのソナタを軸としたプログラムはクラシックファンの注目度も高く、チケットは早々に完売した。公演当日は、緊張感のある熱演で濃密な演奏会となった。</p> <p>【曲目】 ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ バルトーク：ヴァイオリン・ソナタ第1番 Sz. 75 バルトーク：ヴァイオリン・ソナタ第2番 Sz. 76 ラヴェル：ツィガース</p> <p>〈アンコール〉 バルトーク（ティボール・フレプ編）：10のやさしいピアノ小品より 第5番「トランシルバニアのタベ」 Sz. 39-5</p>	



Photo_T. Tairadate

2 ① ②	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 イベント 0 歳からのコンサート ドレミパーカッション	
	公演日	令和 4 年 9 月 3 日 (土) ① 10 時 30 分開演 ② 11 時 30 分開演	
	会 場	大ホールホワイエ	
	料金等	[全席自由] 入場無料 (事前申込)	
	入場者	① 42 人【定員 50 名】 / 完売 ② 61 人【定員 50 名】 / 完売	
	事業 内容	<p>区立幼稚園をはじめとするアウトリーチプログラム出演者の打楽器トリオ・Maicology による 0 歳から入場できるコンサートを開催した。</p> <p>事前申込制の入場券は早々に予定枚数に達し、このコンサートへの期待度の高さがうかがえた。公演当日は多くの未就学児を含む家族連れが来場し、演奏に合わせて身体を動かし、笑顔を見せる子どもたちも多く、めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念イベントの幕開けにふさわしい公演となった。</p> <p>【出演】 Maicology (マイコロジー) 宮本まいこ (スティールパン)、宮野下シリュウ (マリンバ)、中丸達也 (打楽器)</p> <p>【助成】 芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 イベント いろどりワンコインコンサート【邦楽】	
	公演日	令和 4 年 9 月 3 日 (土) 14 時開演	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 500 円	
	入場者	127 人【定員 196 名】	
	事業 内容	<p>区立小学校、中学校でのアウトリーチプログラムの出演者による演奏がワンコインで聴ける 3 種類のコンサートを開催し、各回 45 分間で実施した。</p> <p>《邦楽》は、小山豊 (津軽三味線)、小湊昭尚 (尺八)、大多和正樹 (和太鼓) によるコンサートで、各楽器の紹介を交えながら、民謡、日本古曲、現代曲のアレンジなど伝統にとどまらない和楽器の魅力を紹介した。</p> <p>また、出演者が観客に向けて演奏に合わせて踊りや手拍子を促すなど、客席と一体となったコンサートになった。</p> <p>【助成】 芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 イベント いろいろワンコインコンサート【金管】	
	公演日	令和 4 年 9 月 3 日（土）15 時 15 分開演	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 500 円	
	入場者	154 人【定員 196 名】	
	事業 内容	<p>区立小学校、中学校でのアウトリーチプログラムの出演者による演奏がワンコインで聴ける 3 種類のコンサートの第 2 弾として、《金管》は原田照久、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）による金管五重奏のコンサートを開催した。</p> <p>目黒区歌である「めぐろ・みんなのうた」を金管五重奏にアレンジした「めぐろ・みんなの歌ファンファーレ」とジブリ作品が、各楽器や曲のアレンジについての紹介を交えながら演奏された。</p> <p>【助成】 芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 イベント いろいろワンコインコンサート【声楽】	
	公演日	令和 4 年 9 月 3 日（土）16 時 30 分開演	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 500 円	
	入場者	94 人【定員 172 名】	
	事業 内容	<p>区立小学校、中学校でのアウトリーチプログラムの出演者による演奏がワンコインで聴ける 3 種類のコンサートの第 3 弾として、《声楽》は鶴木絵里（ソプラノ）、小林大祐（バリトン）、大野真由子（ピアノ）によるコンサートを開催した。</p> <p>日本歌曲、オペラ・アリア、二重唱、ピアノ独奏などの曲目が、曲の解説や普段のアウトリーチの様子の説明を挟みながら演奏された。</p> <p>なお、本公演は感染症対策のため客席 1、2 列目の中央ブロック（計 24 席）を売り止めとした。</p> <p>【助成】 芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ⑥ ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 イベント めぐろパーシモンホールバックステージ ツアー	
	公演日	令和 4 年 9 月 4 日 (日) ① 小ホール出発回 16 時 30 分開始 ② 大ホール出発回 17 時 00 分開始	
	会 場	大ホール、小ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込)	
	入場者	① 15 人【定員 15 名・小学生以上】 予定枚数終了 ② 14 人【定員 15 名・小学生以上】 予定枚数終了	
事業 内容	<p>めぐろパーシモンホール開館 20 周年を記念して、普段一般の方が見ることのできない舞台裏をホールスタッフが案内するバックステージツアーを開催した。当初定員を各回 10 名としていたが、申込受付開始後すぐに定員に達したため、各回 15 名に増枠した。大ホール公演の搬出の様子の見学やピンスポットの体験など子どもから大人まで幅広い年代の参加者が楽しめる内容となった。</p> <p>【助成】 芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 イベント 原田慶太楼×ぱんだウインドオーケストラ	 <p style="text-align: right;">Photo_Masahiko Terashi</p>
	公演日	令和 4 年 9 月 4 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 3,500 円 学生(高校生以下)1,000 円	
	入場者	934 人【定員 1,200 名】	
事業 内容	<p>めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念イベントのフィナーレを飾った本公演では、指揮者・原田慶太楼とサクソフォン奏者・上野耕平がコンサートマスターを務める新進気鋭の吹奏楽団「ぱんだウインドオーケストラ」(区立小学校、中学校でのアウトリーチプログラムにも小編成で出演)との初共演が実現した。両者の吹奏楽への熱い想いがたっぷりと詰まった魅力溢れるプログラムで、曲目公開後は大きくチケットの売り上げが伸び、本公演及び吹奏楽への関心の高さがうかがえた。</p>		

2 ⑧		<p>また、第2部の冒頭には特別企画として、目黒区立第十中学校吹奏楽部(26人)とのコラボレーション演奏を実施した。事前に吹奏楽団のメンバーが学校へ赴き直接指導を2回実施するなど、演奏面のサポートはもちろんのこと、生徒との交流にも意欲的に取り組んでいただいた。</p> <p>普段、大編成での演奏機会が無い生徒にとっては、プロのアーティストと一緒に大きな舞台で合奏をできたことが貴重な体験となった。</p> <p>【公開リハーサルの実施】 入場者：40人 本番前日である9月3日(土)には、チケット購入者特典として本公演の「無料公開リハーサル」を実施し、目黒区内学校限定で告知を行った。当日は共演する目黒区立第十中学校吹奏楽部にも見学いただき、どのような練習が全体で行われているのか学ぶ機会を提供した。</p> <p>【曲目】 前久保諒：PANDASTIC!! 清水大輔：空を削るもの The Skyscrapers 小田実結子：夜明け J. バーンズ：パガニーニの主題による幻想変奏曲 J. ヴァン＝デル＝ロースト：アルセナール [合同演奏] 芳賀傑編：アメイジング・グレイス P. スパーク：ウィークエンド・イン・ニューヨーク J. マッキー：レッドライン・タンゴ P. スパーク：ダンス・ムーヴメント</p> <p>【助成】 芸術文化振興基金助成事業</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ①	事業内容	<p>めぐるパーシモンホール開館20周年記念 フレッシュ名曲コンサートキャンペーンイベント 出口大地トーク&レクチャー「指揮者って普段何してるの？」</p> <p>令和4年9月14日(水)</p> <p>中目黒GTプラザホール</p> <p>[全席自由] 500円</p> <p>入場者 52人【定員60名】／完売</p> <p>フレッシュ名曲コンサートのキャンペーンイベントとして、指揮者・出口大地によるトークイベントを実施した。 前半では、指揮者になることを決意して法学部を卒業後に音楽大学に入り、ベルリンに留学した経歴などを紹介、また指揮者はどういうことをしているのかについて解説し、後半では本公演の演奏曲について解説した。 パワーポイントの映像を交えながら親しみやすい語り口での解説は分かりやすく、最後の質問コーナーでは来場者から多くの質問が寄せられた。</p> <p>【主催】 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館</p> <p>【企画協力】 東京オーケストラ事業協同組合</p> <p>【後援】 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)</p>	 <p>Photo_Satoshi Watanabe</p>

3 ②	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 フレッシュ名曲コンサート	 <p>Photo_Masahiko Terashi</p>
	公演日	令和 4 年 10 月 15 日 (土)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S 席 4,000 円 A 席 3,300 円 学生 1,000 円	
	入場者	1,065 人【定員 1,156 名】／完売 ※ 定員は映像用の押さえ席を除く。	
事業 内容	<p>ハチャトゥリアン国際コンクールで日本人初の優勝など、躍進する指揮者・出口大地と、国際コンクールでの活躍で期待が集まるピアニスト・亀井聖矢が読響との初共演でベートーヴェンとブラームスのプログラムに挑んだ。</p> <p>また、本公演は 1 年間の期間限定で全編をホール公式 YouTube チャンネルで無料公開しているが、公開 1 か月で 1 万 8 千回の視聴数にのぼっている。</p> <p>【出演】 出口大地 (指揮)、亀井聖矢 (ピアノ)、読売日本交響楽団 (管弦楽)</p> <p>【曲目】 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 5 番変ホ長調 op. 73 「皇帝」、 ブラームス：交響曲第 1 番ハ短調 op. 68</p> <p>〈ソリストアンコール〉 リスト：パガニーニによる大練習曲第 3 番「ラ・カンパネラ」</p> <p>〈ウェルカム・コンサート〉 読響メンバーによる金管五重奏 (開演前 14 時 30 分からステージ上で実施)</p> <p>【主催】 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館</p> <p>【企画協力】 東京オーケストラ事業協同組合</p> <p>【後援】 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)</p>		
4 ① ②	公演名	「フジタが目黒にやって来た」展 ミュージアムコンサート パリを歩く a v e c F u j i t a	 <p>Photo_Takako Miyachi</p>
	公演日	令和 4 年 11 月 6 日 (日) ① 13 時開演 ② 15 時開演	
	会 場	目黒区美術館ワークショップ室	
	料金等	[全席自由] 1,500 円	
	入場者	① 35 人【定員 35 名】／完売 ② 36 人【定員 35 名】／完売	

	事業内容	<p>対象となる展覧会がコレクション展であったため、展覧会のタイトルにもなっている藤田嗣治をコンサートのメインに置き、フジタに扮したタップダンサー・村田正樹が 20 世紀初頭のパリの情景を思い起こさせるジャズナンバーに合わせてパフォーマンスを披露した。</p> <p>【出演】 村田正樹 (タップダンサー)、菅野淳史 (トランペット)、オオサキゲンタ (ギター)、白石光徳 (ドラム)</p> <p>【曲目】 C'est Magnifique/C'est si Bon/Minor Swing/Honeysuckle Rose/Sous les toits de Paris パリの屋根の下/TAP solo with Drums/Yes Sir, That's My Baby/I Got Rhythm/枯葉/After You've Gone 〈アンコール〉 My Blue Heaven</p>										
5	事業内容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="343 645 932 837">公演名</td> <td data-bbox="932 645 1441 837">めぐるパーシモンホール開館 20 周年記念 4 人のバリトンコンサート ハンサムなメロディー2 ～ハンサム四兄弟故郷凱旋コンサート～</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 837 932 931">公演日</td> <td data-bbox="932 837 1441 931">令和 5 年 1 月 7 日 (土)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 931 932 1010">会場</td> <td data-bbox="932 931 1441 1010">大ホール</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1010 932 1111">料金等</td> <td data-bbox="932 1010 1441 1111">[全席指定] S 席 3,700 円 A 席 3,200 円 学生 1,000 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1111 932 1205">入場者</td> <td data-bbox="932 1111 1441 1205">649 人【定員 1,200 名】</td> </tr> </table>  <p style="text-align: right;">Photo_Masahiko Terashi</p> <p>2019 年に当ホールで開催し、好評を博した「4 人のバリトンコンサート」のあと「ハンサム四兄弟」として定着した 4 人のバリトン歌手たちによる、めぐるパーシモンホール開館 20 周年を記念した故郷凱旋コンサートを開催した。</p> <p>4 部構成となったプログラムでは、王道のオペラアリアやミュージカルナンバーのほかに、貴重なバリトン四重唱が聴ける映画音楽のメドレーや今回初となるバンドネオンとのデュオや豪華バンドメンバーたちとの共演など華やかで充実した内容をお届けした。</p> <p>また、年明けすぐの公演であったため、ご来場のお客様にも楽しんで頂けるようなシークレット企画 (紋付袴衣装、フォトタイム、サイン会、サイリウム等) を盛り込んで、普段のクラシックコンサートでは味わえない新春ならではの賑やかな公演を開催することができた。</p> <p>【出演】 宮本益光 (バリトン)、与那城敬 (バリトン)、近藤圭 (バリトン)、加未徹 (バリトン)、加藤昌則 (作曲・ピアノ)、林周雅 (ヴァイオリン)、藤井将矢 (コントラバス)、北村聡 (バンドネオン)</p> <p>【曲目】 第 1 部 オペラアリア トマ：歌劇「ハムレット」より「酒は、悲しみを忘れさせる」 モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』より「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」 モーツァルト：歌劇『愛の妙薬』より「昔パリスがしたように」 モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』より「私がついに息をついている間に」</p>	公演名	めぐるパーシモンホール開館 20 周年記念 4 人のバリトンコンサート ハンサムなメロディー2 ～ハンサム四兄弟故郷凱旋コンサート～	公演日	令和 5 年 1 月 7 日 (土)	会場	大ホール	料金等	[全席指定] S 席 3,700 円 A 席 3,200 円 学生 1,000 円	入場者	649 人【定員 1,200 名】
公演名	めぐるパーシモンホール開館 20 周年記念 4 人のバリトンコンサート ハンサムなメロディー2 ～ハンサム四兄弟故郷凱旋コンサート～											
公演日	令和 5 年 1 月 7 日 (土)											
会場	大ホール											
料金等	[全席指定] S 席 3,700 円 A 席 3,200 円 学生 1,000 円											
入場者	649 人【定員 1,200 名】											

		<p>第2部 AROUND THE WORLD</p> <p>加藤昌則 編曲：映画音楽で巡る世界一周メドレー</p> <p>第3部 バンドネオンと シュテルツェル、バッハ 作曲：あなたがそばにいれば やなせたかし 作詞／木下牧子 作曲：歌曲集『愛する歌』より ロマンチ ストの豚 高田敏子 作詞／加藤昌則 作曲：旅のこころ 見尾田みずほ 作詞／パガーノ 作曲：黒ネコのタンゴ</p> <p>第4部 with スペシャルバンド ライス 作詞／メンケン 作曲：ミュージカル『美女と野獣』より 愛せぬ ならば レッサー 作詞・作曲：ミュージカル『ガイズ&ドールズ』より 運命よ、 今夜は女神らしく モリコーネ 作曲：映画『ニューシネマ・パラダイス』より 愛のテーマ ウェザリー 作詞／なかにし礼 訳詞／アイルランド民謡：ダニー・ボーイ 永六輔 作詞／中村八大 作曲：上を向いて歩こう</p> <p>〈アンコール〉 宮本益光 作詞／加藤昌則 作曲：もしも歌がなかったら</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>
6	<p>公演名</p> <p>めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 桂文枝 春風亭小朝 新春東西落語名人会</p> <p>公演日</p> <p>令和 5 年 1 月 13 日（金）</p> <p>会 場</p> <p>大ホール</p> <p>料金等</p> <p>[全席指定] S 席 3,700 円 A 席 3,200 円</p> <p>入場者</p> <p>1,148 人【定員 1,200 名】／完売</p>	
	<p>事業 内容</p>	<p>新春恒例の落語会。めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念にふさわしく、 上方落語の重鎮、桂文枝と江戸落語の名人、春風亭小朝を迎えて華やかに開催し た。 また、新年の幕開けにふさわしく水戸大神楽で彩を添えた。入場者数は、新型 コロナウイルス感染拡大前に戻り、多くの来場者でにぎわった。 今回も自由が丘蜂の家よりお菓子の協賛品をいただき、抽選で 30 名の来場者 に配布した。</p> <p>【出演・演目】 道具屋（柳亭左ん坊）、浜野矩随（春風亭小朝）、水戸大神楽（柳貴家雪之介）、 芸者・ちどり～三枝作～（桂文枝）</p> <p>【協賛】 自由が丘蜂の家</p>

7	公演名	Banksia Trio 須川崇志、林正樹、石若駿	
	公演日	令和5年2月19日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 3,500円	
	入場者	181人【定員200名】／完売	
	事業内容	<p>日本ジャズ界のトッププレイヤー3人が集結したピアノトリオ「Banksia Trio」によるジャズ公演を開催した。3年目となる今回は、スタンダードジャズからオリジナル曲まで計14曲を披露し、観客を大いに沸かせた。</p> <p>なお、当公演から、主催事業のチケット購入時に電子チケットが選択できるようになった。</p> <p>【出演】 須川崇志(ベース)、林正樹(ピアノ)、石若駿(ドラム)</p>	
8	公演名	めぐろパーシモンホール開館20周年記念/ 目黒区制90周年記念 未来の音 ガラ・コンサート	 <p style="text-align: right;">Photo_Taira Tairadate</p>
	公演日	令和5年3月4日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席5,500円 A席4,500円 B席3,500円 学生1,000円	
	入場者	1,081人【定員1,176名】／完売 ※ 定員は映像用の押さえ席を除く。	
	事業内容	<p>めぐろパーシモンホール開館20周年記念、また目黒区制施行90周年記念事業としてオーケストラ公演を実施した。</p> <p>2007年から継続している若手演奏家リサイタルシリーズ「未来の音」の過去の出演者3名をソリストとして招き、気鋭の指揮者・角田鋼亮と読売日本交響楽団との共演で、ヴァイオリン、チェロ、ピアノそれぞれの人気の協奏曲を一度に聴くことができる祝祭感のあるコンサートとなった。</p> <p>【出演】 角田鋼亮(指揮)、周防亮介(ヴァイオリン)、上野通明(チェロ)、岡田奏(ピアノ)、読売日本交響楽団(管弦楽)</p> <p>【曲目】 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 op. 26 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 op. 104 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op. 18</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>	

9	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 東京六人組	 <p>Photo_Taira Tairadate</p>
	公演日	令和 5 年 3 月 9 日 (木)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 3,500 円 学生 2,000 円	
	入場者	175 人【定員 200 名】／完売	
事業 内容	<p>めぐろパーシモンホール開館 20 周年シリーズ最後の公演として、木管五重奏 + ピアノという編成の可能性を追求する音楽家集団「東京六人組」の 4 度目のコンサートを開催した。</p> <p>メンバーがトークの際に客席に尋ねると、1 回目から来場しているというリピーターも数人居た。</p> <p>芸術性とテクニックを兼ね備えた気鋭が集ったこのグループならではの多彩な作品がプログラミングされ、渾身の演奏に会場が大きく盛り上がり終演となった。</p> <p>【出演】 上野由恵 (フルート)、荒絵理子 (オーボエ)、金子平 (クラリネット)、福士マリ子 (ファゴット)、福川伸陽 (ホルン)、三浦友理枝 (ピアノ)</p> <p>【曲目】 ブ람ムス (岩岡一志 編曲) : ハンガリー舞曲 第 1 番/第 5 番/第 6 番 フランセ : 恋人たちのたそがれ ガーシュウィン (Lisa Portus 編曲) : パリのアメリカ人 デュカス (浦壁信二 編曲) : 魔法使いの弟子 ラヴェル (磯部周平 編曲) : 亡き王女のためのパヴァーヌ ラヴェル (浦壁信二 編曲) : ラ・ヴァルス</p> <p>〈アンコール〉 ハチャトゥリアン : バレエ音楽『ガイーン』よりレズギンカ</p>		

(2) 共催事業 (6事業 = 46公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	気になる三人かい・・・ 柳家喬太郎・春風亭一之輔・柳亭小痴楽	
	公演日	令和4年4月20日(水)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	1,079人【定員1,200名】／完売	
	事業内容	夢空間主催による落語会のトップを走る3人の公演を開催した。チケットは完売し、3人の噺家のパフォーマンスで会場を大きく沸かせた。 【演目】 柳家喬太郎「稲葉さんの大冒険」、春風亭一之輔「不動坊」、柳亭小痴楽「粗忽長屋」	
1 ②	公演名	柳の家の三人会 柳亭市馬・柳家花緑・柳家三三	
	公演日	令和4年7月8日(金)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	770人【定員1,200名】	
	事業内容	夢空間主催による落語公演を開催した。 【演目】 柳家花緑「猫の災難」、柳家三三「崇徳院」、柳亭市馬「宿屋の仇討」	
1 ③	公演名	落語教育委員会 三遊亭歌武蔵・柳家喬太郎・三遊亭兼好	
	公演日	令和4年11月29日(火)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	639人【定員1,200名】	
	事業内容	夢空間主催の落語公演を開催した。新作から古典落語、さらにはコントも披露されるなど、出演者の個性あふれる落語会となった。 【演目】 コント～演芸千一夜～、春風亭与いち「代脈」、三遊亭兼好「町内の若い衆」、三遊亭歌武蔵「支度部屋外伝」、柳家喬太郎「錦の袈裟」	

2 ①	公演名	Music Dialogue 2022-2023 字幕実況解説付き 公開リハーサル	
	公演日	令和4年6月27日(月)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席指定] 一般2,000円 学生500円	
	入場者	50人【定員75名】	
事業内容	<p>音楽家同士が「対話」を行いながら音楽を作り上げていく過程を、スクリーンに写される字幕実況の解説を見ながら鑑賞する内容で、公開リハーサルを経て、本公演が行われる。</p> <p>【出演】 福田麻子(ヴァイオリン)、前田妃奈(ヴァイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、中村詩子(ヴィオラ)、水野優也(チェロ)</p> <p>【曲目】 メンデルスゾーン：弦楽五重奏曲第2番 変ロ長調 op.87</p>		
2 ②	公演名	Music Dialogue 2022-2023 一室内楽を通じて音楽家と対話する	
	公演日	令和4年7月1日(金)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 一般4,000円 学生2,000円	
	入場者	86人【定員100名】	
事業内容	<p>字幕実況付き公開リハーサルを経て、行われる本公演。演奏に引き続き聴衆から寄せられた質問に演奏者が答え、対話を行った。</p> <p>【出演】 福田麻子(ヴァイオリン)、前田妃奈(ヴァイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、中村詩子(ヴィオラ)、水野優也(チェロ)</p> <p>【曲目】 ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 op.10 メンデルスゾーン：弦楽五重奏曲第2番 変ロ長調 op.87</p>		

3 ① ② ③	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクール・パフォーマンス	
	公演日	① 令和4年8月15日(月) ② 令和4年8月16日(火) ③ 令和4年8月17日(水)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般2,000円(中学生以下半額)	
	入場者	① 780人【定員1,200名】 ② 630人【定員1,200名】 ③ 720人【定員1,200名】	
	事業内容	東京バレエ学校による公演を開催し、未来のダンサーたちによるフレッシュなステージを披露した。	
3 ④ ⑤ ⑥ ⑦	公演名	第10回めぐろバレエ祭り はじめてのバレエ	
	公演日	① 令和4年8月18日(木)10時30分開始 ② 令和4年8月18日(木)11時45分開始 ③ 令和4年8月19日(金)10時30分開始 ④ 令和4年8月19日(金)11時45分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円	
	入場者	① 25人【定員30名】 ② 14人【定員30名】 ③ 19人【定員30名】 ④ 14人【定員30名】	
事業内容	3歳から6歳までのバレエ未経験の子どもを対象にした体験レッスンとして、生のピアノ演奏のもと、のびのびとレッスンを楽しんだ。		

3 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	公演名	第10回めぐろバレエ祭り もっと上手に	
	公演日	① 令和4年8月18日(木) 13時00分開始 ② 令和4年8月18日(木) 14時30分開始 ③ 令和4年8月19日(金) 13時00分開始 ④ 令和4年8月19日(金) 14時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円	
	入場者	① 23人【定員30名】 ② 23人【定員30名】 ③ 22人【定員30名】 ④ 20人【定員30名】	
事業内容	バレエ歴1年以上の小学1年生から3年生までの男女を対象にした体験レッスンとして、東京バレエ学校の人気教師である坂井直子によるバレエの基礎を学べるレッスンを開催した。		
3 ⑫ ⑬	公演名	第10回めぐろバレエ祭り ぬり絵であそぼう！	
	公演日	① 令和4年8月18日(木) ② 令和4年8月20日(土)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	入場無料(所要時間は1人約20分)	
	入場者	① 215人(延べ人数) ② 148人(延べ人数)	
事業内容	バレエ作品で有名な漫画家 榎村さとるが描きおろした絵のぬり絵コーナーを実施した。		

3 ⑭	公演名	第 10 回めぐろバレエ祭り 秋元康臣のスーパー・バレエ・レッスン	
	公演日	令和 4 年 8 月 18 日 (木)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 3,000 円	
	入場者	16 人【定員 30 名】	
事業内容	日本屈指のダンスール・ノーブル、秋元康臣による 10 歳から 18 歳までのバレエ歴 3 年以上の男子を対象にしたレッスンを開催した。		
3 ⑮	公演名	第 10 回めぐろバレエ祭り 「バヤデルカ」の群舞を踊ろう！	
	公演日	令和 4 年 8 月 18 日 (木)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 3,500 円	
	入場者	33 人【定員 36 名】	
事業内容	めぐろバレエ祭りで人気の高い大人のための群舞体験では、今回「バヤデルカ」の名場面”影の王国”を東京バレエ学校の教師である矢島まいの指導のもと、挑戦した。		
3 ⑯ ⑰	公演名	第 10 回めぐろバレエ祭り ミニトウシューズにデコレーションしよう！	
	公演日	令和 4 年 8 月 19 日 (金) ① 10 時 00 分開始 ② 11 時 30 分開始	
	会 場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 2,200 円 (小学生対象)	
	入場者	① 30 人【定員 34 名】 ② 34 人【定員 34 名】	
事業内容	ミニトウシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作した。		

3 ⑱	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 親子でミニトウシューズにデコレーションしよう！	
	公演日	令和4年8月19日(金)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 4,400円(小学生と保護者ペア対象)	
	入場者	34人【定員17組34名】	
	事業内容	親子で一緒に楽しめるワークショップとして、ミニトウシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作した。	
3 ⑲ ⑳	公演名	第10回めぐろバレエ祭り ティアラをつくろう！	
	公演日	令和4年8月19日(金) ① 14時30分開始 ② 16時00分開始	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 3,500円(小学生対象)	
	入場者	① 32人【定員34名】 ② 25人【定員34名】	
	事業内容	小学生を対象にした、スワロフスキーなどを飾りつけて自分だけのティアラを作るワークショップを開催した。	
3 ㉑ ㉒	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 親子でバレエ・ストレッチ	
	公演日	令和4年8月20日(土) ① 10時00分開始 ② 11時15分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1組1,000円	
	入場者	① 30人【定員15組30名】 ② 8人【定員15組30名】	
	事業内容	①は4歳から6歳とその保護者、②は小学1年生から4年生とその保護者が東京バレエ学校教師の指導で親子一緒にバレエ要素を取り入れたストレッチを体験した。	

3 ⑳	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 0～3 歳児のための楽しいバレエ・ワークシ ョップ	
	公演日	令和4年8月20日(土) ① 12時30分開始 ② 15時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1組1,000円	
	入場者	① 40人【定員20組40名】 ② 34人【定員20組40名】	
	事業内容	0歳から3歳児とその保護者を対象とした、バレエ音楽のリズムに乗って身体を動かすことを親子一緒に体験するイベントを開催した。	
3 ㉑	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 上野水香の「白鳥」レッスン!	
	公演日	令和4年8月20日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 6,000円	
	入場者	33人【定員36名】	
	事業内容	東京バレエ団のプリンシパル・上野水香による16歳以上でバレエ歴2年以上の方を対象にした特別レッスンを開催し、オデット&オディールの振付に挑戦した。	
3 ㉒	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 水谷実喜に教わる「オーロラ」レッスン	
	公演日	令和4年8月20日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 6,000円	
	入場者	18人【定員36名】	
	事業内容	英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団のプリンシパルに昇進した水谷実喜による、18歳以下でトウシューズ歴2年以上の女子を対象にした特別レッスンを開催した。	

3 ⑳ ㉑ ㉒ ㉓	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ ドン・キホーテの夢	 <p>photo_Kiyonori Hasegawa</p>
	公演日	① 令和4年8月20日(土)11時30分開演 ② 令和4年8月20日(土)15時00分開演 ③ 令和4年8月21日(日)11時30分開演 ④ 令和4年8月21日(日)15時00分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席6,000円 A席5,000円 (中学生以下)S席3,000円 A席2,500円	
	入場者	① 895人 ② 817人 ③ 1,002人 ④ 988人 【定員1,200名】	
事業内容	東京バレエ団による子どものためにアレンジした本格バレエ「ドン・キホーテの夢」を上演した。親子での鑑賞はもちろんのこと、初めてバレエを鑑賞する大人やバレエファンも楽しめる人気公演として、多くの方にご来場いただいた。		
3 ㉔	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 公開レッスン	
	公演日	令和4年8月21日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[参加費] 無料	
	入場者	543人【定員800名】	
事業内容	東京バレエ団のダンサーたちの貴重な本番前のレッスンを特別に無料公開した。		
3 ㉕ ㉖	公演名	第10回めぐろバレエ祭り からだであそぼう だれでもダンス☆	
	公演日	令和4年8月21日(日) ① 11時15分開始 ② 15時00分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 無料	
	入場者	① 23人【定員30名】 ② 30人【定員30名】	
事業内容	からだを使って遊びながら自由に表現する楽しみを味わえる、振付家・ダンサーの田畑真希によるだれでも参加できるワークショップを開催した。		

3 ③④	公演名	第10回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団ダンサーズ・トーク in めぐろ	
	公演日	令和4年8月21日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円	
	入場者	88人【定員90名】	
	事業内容	東京バレエ団ダンサーによるトークイベントを開催し、舞台から日常生活まで、謎に包まれたダンサーたちの生活を探れる内容となった。	
3 ③⑤	公演名	第10回めぐろバレエ祭り バレエ縁日	
	公演日	令和4年8月21日(日)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 300円	
	入場者	272人【延べ人数】	
	事業内容	「キトリのちょうちん作り」や「キラキラ☆デコ風鈴作り」、「海賊の花輪投げ」などバレエにちなんだゲームを当日だれでも参加できる縁日を開催し、多くの方で賑わった。	
3 ③⑥ ③⑦	公演名	第10回めぐろバレエ祭り スーパーバレエMIX BON踊り	
	公演日	① 令和4年8月21日(日) 14時00分開始 ② 令和4年8月21日(日) 16時45分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 無料	
	入場者	① 80人【定員80名】 ② 80人【定員80名】	
	事業内容	3年ぶりの開催となった本イベントには、東京バレエ団のプリンシパルである上野水香・宮川新大が講師となって参加者と共にバレエの動きを取り入れたBON踊りを踊り、お祭りのフィナーレを盛大に飾った。	

4	公演名	ANRI LIVE 2022 ～Wave～	
	公演日	令和4年11月5日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般6,200円 小・中学生1,000円	
	入場者	1,104人【定員1,200名】／完売	
	事業内容	東京労音主催のシンガーソングライター「ANRI」によるコンサートを開催した。ファンから事前にリクエスト曲を募集してセットリストを作成し、「オリビアを聴きながら」、「悲しみがとまらない」、「CAT 'S EYE」などヒット曲を披露した。	
5 ① ②	公演名	ザ・ピアノエラ 2022	
	公演日	① 令和4年11月19日(土) ② 令和4年11月20日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 単日券7,800円 2日通し券14,800円 ※ 単日券購入の学生(高校生以上)は1,000円、子ども(中学生以下)は3,000円をキャッシュバック	
	入場者	① 700人【定員1,200名】 ② 600人【定員1,200名】	
	事業内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3年ぶり5回目の開催となった自動演奏ピアノを用いた生演奏やミニマル・ミュージック、ソロからアンサンブルまで、ピアノへの様々なアプローチや表現を体感できる公演となり、ピアノ音楽への没入体験を提供した。	

6	公演名	CHINTAI クラシック・スペシャル ウクライナ国立バレエ (旧キエフ・バレエ)「ドン・キホーテ」(全3幕)	 <p>Photo by Yuki Horiguchi</p>
	公演日	令和4年12月22日(木)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S S席 18,000円 S席 16,000円 A席 13,000円 B席 11,000円 C席 9,000円	
	入場者	860人【定員1,054名】／完売	
事業内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2年連続で中止となっていた光藍社主催のバレエ公演を開催した。</p> <p>ロシアによるウクライナ侵攻の影響でプログラムや出演者が変更となったが、チケットは完売し、幅広い世代が来場した。</p>		

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業（2事業＝2公演）

No.	内容		
1	公演名	第11回めぐろパーシモンホール 避難訓練コンサート	
	公演日	令和4年4月24日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料（事前申込）	
	入場者	507人【定員600名】／予定枚数終了	
	事業内容	<p>コンサートの途中で震度6弱の地震が発生したと想定し、ホールスタッフが来場者や出演者を避難させる避難訓練コンサートを開催した。</p> <p>当初、区民キャンパス公園を避難場所に想定していたが、雨天により初めて大ホールホワイエを避難場所とした。大勢の来場者が大ホールホワイエに一度に集まる状況を把握できたことやコロナ禍による避難誘導など、ホールスタッフの危機意識が向上した。</p> <p>【出演】 警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード</p> <p>【後援】 目黒区</p> <p>【協力】 碑文谷警察署、東急電鉄株式会社</p>	
2	公演名	気仙沼漁師カレンダー展	
	公演日	令和5年1月19日（木） ～ 2月28日（火）	
	会場	めぐろ区民キャンパスプラザ地下1階	
	料金等	観覧無料	
	事業内容	<p>目黒区友好都市である宮城県気仙沼市の復興支援を目的に震災から5年が経過した2016年から2022年まで「東日本大震災復興支援コンサート」を実施した。</p> <p>その関連企画として、力強く進む気仙沼市の「今」を発信する場として開催してきた「気仙沼漁師カレンダー展」を、今年度は友好都市応援プログラムと位置付けて開催した。9作目となる2023年版は、写真家・公文健太郎の撮影による漁師の生き様を捉えた写真を展示し、期間中はホールチケットセンターでカレンダーの販売を行った。</p>	

(2) 共催事業 (17事業 = 21公演)

No.	内容		
1	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 目黒区東山オーケストラ 第 27 回定期演奏会 スプリングコンサート	
	公演日	令和 4 年 4 月 10 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込)	
	入場者	700 人【定員 958 名】 ※ 前舞台を使用し、前方 2 列を感染症対策として、座席を使用しなかった。	
	事業内容	めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒区東山オーケストラ主催による定期演奏会。 めぐろパーシモンホール開館 20 周年をお祝いする曲などを披露し、祝祭感ある内容となり、来場者の満足度が高いコンサートだった。	
2 ① ②	公演名	東京インターアーツ目黒 和草 (にこぐさ) コンサート 水の世界と日本の音階	
	公演日	令和 4 年 5 月 14 日 (土) ① 14 時開演 ② 17 時開演	
	会 場	中目黒 G T プラザホール	
	料金等	[全席自由] 一般 3,000 円 小中高生 1,500 円 親子ペア券 (一般+小中高生) 4,000 円 未就学児無料	
	入場者	① 92 人【定員 100 名】 ② 43 人【定員 100 名】	
事業内容	東京インターアーツ目黒支部主催による邦楽と洋楽のコラボレーションのコンサートを開催した。ピアノ、箏、尺八の演奏以外にも、声楽や朗読を織り交ぜながら実施した。 また、中目黒公園 花とみどりの学習館が舞台上に色鮮やかなお花を生け、さらに英文のプログラムを配布する等、国際親善交流等の一助となった。来場者はお子様を含めた家族連れもおり、幅広い層が楽しめるコンサートだった。		

3	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 目黒吹奏楽団 第 40 回記念定期演奏会	
	公演日	令和 4 年 6 月 12 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料 (事前申込)	
	入場者	893 人【定員 1,200 名】	
事業内容	めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒吹奏楽団主催によるコンサートを開催した。 ホールに寄せられた多数のリクエスト曲から「新世界より」終楽章ほか、多様なジャンルの曲目を取り上げ、幅広い世代の方々が来場した。		
4	公演名	第 79 回全国舞踊コンクール アンコール公演	
	公演日	令和 4 年 6 月 18 日 (土)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 2,600 円 当日券 2,900 円	
	入場者	760 人【定員 1,200 名】	
事業内容	東京新聞主催「第 79 回全国舞踊コンクール」の各部門の上位入賞者がコンクール入賞演目を披露するアンコール公演を開催した。		
5	公演名	第 69 回児童舞踊合同公演	
	公演日	令和 4 年 6 月 19 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 2,000 円	
	入場者	854 人【定員 1,200 名】	
事業内容	東京新聞主催の児童舞踊団体が小作品やテーマ作品を発表する合同公演を開催した。 今回はテーマを「扉の向こう…」とし、扉の向こう側に広がる様々な空想の世界を子どもたちがダンスで表現した。		

6	公演名	東京マンドリン宮田楽団 第139回定期演奏会	
	公演日	令和4年7月2日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料(事前申込)	
	入場者	728人【定員1,200名】	
	事業内容	目黒区内で多岐にわたる活動を行っている東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会を開催した。クラシックからポップス、ラテン等のジャンルをマンドリンとギターで演奏し、子どもから大人まで幅広く来場した。	
7	公演名	第20回パーシモンほたる祭り	
	公演日	令和4年7月10日(日)	
	会場	大ホール、小ホール、めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者3,000人(ほたる鑑賞700人含む)	
事業内容	周辺の小学校、中学校、高等学校、町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による地域の夏まつりを3年ぶりに開催した。 感染症対策のため、小ホールでのほたる鑑賞では、予約方法を初めてオンラインチケットを活用した事前申込制として実施した。		
8 ①	公演名	Music Dialogue 2022 DUO PROJECT CONCERT 公開リハーサル① 字幕実況解説付き	
	公演日	令和4年7月26日(火)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席指定] 一般2,000円 学生500円	
	入場者	59人【定員75名】	
	事業内容	若手演奏家によるデュオをオーディションで選出し、数か月をかけて世界的な音楽家によるコーチング、公開リハーサルを重ねてコンサートでその成果を披露するプロジェクト。スクリーンに映される字幕実況の解説付きの公開リハーサルの第1回目を実施した。 【出演】 對馬佳祐、竹澤恭子(ヴァイオリン)、ジャンミッシェル・キム(ピアノ)、上田晴子(ピアノ) 【曲目】 ブラームス：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ト長調 op. 78 プロコフィエフ：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番 ニ長調 op. 94bis	

8 ②	公演名	Music Dialogue 2022 DUO PROJECT CONCERT 公開リハーサル② 字幕実況解説付き	
	公演日	令和4年9月1日(木)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席指定] 一般2,000円 学生500円	
	入場者	70人【定員75名】	
事業内容	<p>若手演奏家によるデュオをオーディションで選出し、数か月をかけて世界的な音楽家によるコーチング、公開リハーサルを重ねてコンサートでその成果を披露するプロジェクト。スクリーンに映される字幕実況の解説付きの公開リハーサルの第2回目を実施した。</p> <p>【出演】 対馬佳祐(ヴァイオリン)、ジャンミッシェル・キム(ピアノ)、上田晴子(ピアノ)</p> <p>【曲目】 シマノフスキ：神話～ヴァイオリンとピアノのための詩曲 op. 30 プロコフィエフ：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番 ニ長調 op. 94bis</p>		
9 ①	公演名	伝統文化「文楽」に親しむ	
	公演日	令和4年8月27日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000円	
	入場者	136人【定員160名】	
事業内容	<p>様々な伝統文化に親しんでいただくことを目的とした公益財団法人北野生涯教育振興会主催の講演会を開催した。</p> <p>今回は「文楽」を題材に基礎知識の解説とミニ公演を行った。人形遣いの手元をスクリーンに映し出したり、ホワイエに人形を展示して間近で見させていただいたりするなど、伝統文化の理解を深める公演であった。</p>		
9 ②	公演名	カルロス菅野～熱帯スペシャルコンボ～ ラテンリズム講座	
	公演日	令和4年12月4日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円	
	入場者	110人【定員160名】	
事業内容	<p>公益財団法人北野生涯教育振興会が主催する、さまざまな芸術文化を紹介する講座の一環として、ラテンリズム講座を開催した。</p> <p>今回はパーカッション、ピアノ、ベース、コンガ、ドラムス、サックスの6名によるラテン音楽の解説と演奏を行った。本格的に音響機器と照明を入れたライブと詳しい解説により、ラテン音楽に関する理解を深める公演であった。</p>		

10	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 第 29 回めぐろ童謡コンサート	
	公演日	令和 4 年 10 月 16 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 前売券 1,000 円 当日券 1,200 円 中学生以下無料	
	入場者	948 人【定員 1,200 名】	
	事業内容	童謡の里めぐろ保存会主催の目黒区ゆかりの歌曲をはじめとした童謡のコンサートを開催した。区外の学校の参加やピアノ連弾の演奏など初めての試みもあり、バラエティーに富んだ公演になった。メインゲストは健常者・身障者の垣根なく編成された合唱団で、多様性を感じられる内容に観客からも好評を得た。	
11	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 目黒区民交響楽団 第 96 回定期演奏会	
	公演日	令和 4 年 11 月 27 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 1,000 円	
	入場者	977 人【定員 1,200 名】	
	事業内容	めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する、目黒区を拠点として活動している目黒区民交響楽団主催によるオーケストラの演奏会を実施した。 曲目は、スッペ作曲「詩人と農夫」序曲、チャイコフスキー作曲のイタリア奇想曲 op. 45、ブラームス作曲の交響曲第 1 番 op. 68 の 3 曲が演奏された。来場者は若者から高齢者までの来場が多く、幅広い客層に親しまれた演奏会であった。	
12	公演名	身体で聴こう音楽会 第 266 回ボディソニック定期コンサート 30 周年特別記念公演	
	公演日	令和 4 年 12 月 17 日 (土)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 入場無料 (事前申込)	
	入場者	160 人【定員 200 名】 / 予定枚数終了	
	事業内容	パイオニア株式会社主催によるコンサートを実施した。“体感音響システム (ボディソニック)” を使い、手話通訳や字幕など活用しながら、障害の有無に関わらず一緒に楽しむことができる演奏会が実施された。 30 周年特別記念公演として、今年は第 1 部がフィルハーモニッシャー・コールによる合唱を実施し、第 2 部はスペシャルゲストの八代亜紀による歌唱の公演となった。	

13	公演名	第 77 回毎日映画コンクール	
	公演日	令和 5 年 2 月 14 日 (火)	
	会 場	大ホール	
	料金等	入場無料 (関係者招待等・区民招待 200 名)	
	入場者	1,000 人【定員 1,200 名】	
	事業内容	<p>本事業は、日本の映画産業の振興に寄与し、映画の楽しさを広く伝えることを目的に、(株)毎日新聞社と(株)スポーツニッポン新聞社によって創設された映画賞の授賞式である。</p> <p>毎年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに劇場で上映された映画を対象に、演技、作品だけではなく、撮影や美術、録音などのスタッフなど幅広い部門での受賞者が表彰された。実施後は、当ホールの名前が数多くのメディアに掲載、放送された。</p>	
14	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	令和 5 年 3 月 5 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 一般 2,000 円 学生 (小・中・高・大学生) 1,000 円	
	入場者	638 人【定員 1,200 名】	
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属し、目黒区に縁のあるプロの音楽家で構成されている目黒区クラシック音楽家協会が主催するコンサートを実施した。ピアノ独奏、声楽、管楽器、5 重奏など幅広い編成のプログラムで、子どもから高齢者まで幅広く来場した。</p>		
15	公演名	北野財団混声合唱団 第 5 回チャリティコンサート	
	公演日	令和 5 年 3 月 12 日 (日)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000 円	
	入場者	140 人【定員 160 名】 / 完売	

	事業内容	<p>公募による合唱団が 5 カ月以上にわたって練習を重ね本番に挑んだコンサート。新型コロナウイルス感染症対策のため合唱団員間の距離をとり、前方客席を平土間にして、客席を減数して開催した。チケットの売上金は主催者から目黒区の友好都市である気仙沼市に寄付される。</p> <p>【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>
16 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2023 ～0 歳からの音楽会
	公演日	令和 5 年 3 月 18 日 (土) ① 11 時 00 分開演 ② 14 時 30 分開演
	会場	小ホール
	料金等	[全席自由] 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円 ※ 3 歳未満膝上無料
	入場者	① 182 人【定員 200 名】 ② 147 人【定員 200 名】
	事業内容	<p>東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団が主催する 0 歳から入場可能なコンサートを開催した。</p> <p>聴き馴染みのあるクラシックやアニメ曲のほか、ゲストに津軽三味線奏者の三山貢正を迎え日本の伝統音楽が演奏された。また、抽選で選ばれた子どもが指揮者を体験できる「指揮者コーナー」を実施し、親子で楽しめる内容となった。</p> <p>【出演】 稲田康 (指揮)、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>【ゲスト】 三山貢正 (津軽三味線)</p> <p>【地元協賛出演】 自由ヶ丘学園高等学校吹奏楽部</p>
17	公演名	第 80 回全国舞踊コンクール
	公演日	令和 5 年 3 月 23 日 (木) ～4 月 4 日 (火)
	会場	大ホール
	料金等	入場無料
	入場者	2,160 人 (延べ人数)
	事業内容	<p>東京新聞主催の日本における若手舞踊家の登竜門とされている全国舞踊コンクールを開催した。</p> <p>今年で 80 回目を迎え、バレエ、群舞、現代舞踊、児童舞踊、邦舞、創作舞踊の計 6 部門に 1,879 人が出場し、予選・決選の様子は全国舞踊コンクールホームページにてライブ配信された。</p>



3 体験・普及事業（3事業＝37公演）

1	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 広報特別ワークショップ 「パーシモンの音楽隊」コマ撮りアニメで 動くキャラクター人形を作ろう！	
	公演日	令和 4 年 4 月 16 日（土）	
	会 場	大ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 1,000 円	
	入場者	参加者 9 人【定員 10 名】予約受付終了	
事業 内容	<p>めぐろパーシモンホール開館 20 周年の広報用として作成するコマ撮りアニメーションの PR 動画を制作するにあたり、動画の中で動くキャラクター人形の創作ワークショップを、区民の参加者を募って開催した。</p> <p>ワークショップでは、大ホールのバックステージツアーを行った後に、人形作りの創作に繋げ、ホールを知ること身近に感じてもらう機会とすると共に、めぐろパーシモンホール開館 20 周年を区民と共に盛り上げていく場となった。</p> <p>本ワークショップを基に制作した PR 動画は、8 月末にホール公式 YouTube チャンネルに公開した。</p> <p>【講師】 kobito inc. 井上真洋（クリエイティブディレクター、アニメーター、デザイナー）、井上麻衣（アニメーター、造形デザイナー）、SHIORI（アートディレクター、造形デザイナー）</p>		
2 ①	公演名	子どものためのワークショップ 2022 演劇入門ワークショップ	
	公演日	令和 4 年 6 月 26 日（日）	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,500 円	
	入場者	参加者 34 人【定員 30 名】予約受付終了	
事業 内容	<p>例年、申込開始後数日で定員に達する人気のワークショップで、今回も早々に定員に達した。</p> <p>参加者の演劇経験の有無は問わないため、多くの子どもたちに演劇に触れる機会を提供するワークショップで、簡単なコミュニケーションゲームから始まり、講師の脚本を元に自分たちでセリフを加えて芝居を創作するという内容を行い、参加者からの満足度も高かった。</p> <p>【対象者】 中学生、高校生</p> <p>【講師】 平田オリザ（劇作家、演出家）</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 有限会社アゴラ企画</p>		

2 ②	公演名	子どものためのワークショップ 2022 ダンスワークショップ	
	公演日	令和4年7月25日(月)～28日(木) ※ 最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 2,000円 [発表会] 入場無料	
	入場者	参加者 16人【定員 20名】予約受付終了 発表会 38人	
事業内容	<p>例年、ワークショップでは様々な動きやダンスを経験しながら、最終日にミニ発表会を行う事業を実施しているが、今回の発表会のテーマは「夏の大そうじ2022」と題し、楽しく体を動かすことを目的としたワークショップを行い、発表会では子どもたちの得意なことや、子どもたちに考案させた拭き掃除の仕方などを披露した。</p> <p>【対象者】 小学4年生から中学3年生まで</p> <p>【講師】 近藤良平(コンドルズ主宰、振付家、ダンサー)、ジントク(コンドルズメンバー、ダンサー)</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ③	公演名	子どものためのワークショップ 2022 演劇ワークショップ	
	公演日	令和4年7月26日(火)～30日(土) ※ 最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 3,500円 [発表会] 入場無料	
	入場者	参加者 15人【定員 20名】予約受付終了 発表会 34人	
事業内容	<p>4日間のワークショップで演劇作品を創作し、最終日に発表会を実施する事業であるが、今年の発表会のテーマは「桃太郎DX」と題し、講師の指導の元、昔話の『桃太郎』に、『ロミオとジュリエット』とケストナーの『動物会議』の要素を取り入れて、参加者が話し合いを重ねながらオリジナルの作品として上演した。</p> <p>【対象者】 中学生、高校生</p> <p>【講師】 大池容子(うさぎストライプ主宰、劇作家、演出家)</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年6月10日(金)	
	会場	目黒区立不動小学校 音楽室	
	入場者	小学5年生 95人	
	事業内容	<p>不動小学校の5年生は鼓笛活動をするため、毎年、金管五重奏のアウトリーチを実施している。ここ2年間は感染症対策として体育館で実施をしていたが、今回はより近くで演奏を聴かせたいという依頼があり、2回に分けて実施した。</p> <p>各楽器の音色や合奏における役割も説明することで、普段の学習内容にもリンクする貴重な体験の場となっている。</p> <p>【出演】 原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、鈴木優(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、田村優弥(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年7月5日(火)	
	会場	目黒区立鷹番小学校 体育館	
	入場者	小学3年生 78人 特別支援学級 12人 計90人	
	事業内容	<p>鷹番小学校では初めて木管五重奏のアウトリーチを実施した。</p> <p>対象が3年生のため、楽器の名前を知らない児童が多かったようだが、楽器の紹介と共に、それぞれの楽器の特徴や音色が分かるように丁寧に説明したことで、後日いただいた児童の感想では好きな音色の楽器について書かれていることが多く、楽器への興味関心を深める機会となったことがうかがえた。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、照沼夢輝(クラリネット)、皆神陽太(ファゴット)、濱地宗(ホルン)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

3 ③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年7月13日(水)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生90人	
事業内容	<p>当館のオーケストラ公演への出演も多い読売日本交響楽団の楽団員による金管五重奏を実施した。毎年アウトリーチに出演しており、迫力あるサウンドと、クラシックからアニメ映画音楽まで多彩なプログラムで児童や先生から好評を得た。</p> <p>【出演】 読売日本交響楽団メンバーによる金管五重奏 田中敏雄(トランペット)、重井吉彦(トランペット)、久永重明(ホルン)、 栗田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年8月29日(月)	
	会場	目黒区立第十一中学校 体育館	
	入場者	中学2年生70人	
事業内容	<p>当館の避難訓練コンサートや楽器体験等でも出演しているメンバーによる金管五重奏を実施した。</p> <p>毎年、アウトリーチプログラムにも出演しており、ユーモアあふれるトークと、出演者オリジナルの編曲による演奏に、生徒だけでなく先生からも次の年の出演を依頼されるなど好評を得た。</p> <p>【出演】 原田照久(トランペット)、日置彩乃(トランペット)、豊田実加(ホルン)、 黒木良太(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年9月1日(木)	
	会場	目黒区立下目黒小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 64人	
事業内容	<p>熱帯 JAZZ 楽団のメンバーによる、ラテン・ジャズのプログラムを開催した。感染症対策のため中止していた楽器体験コーナーでは、出演者が学校の楽器を解説し、児童たちが楽器体験した際は盛り上がり、出演者と児童たちが一体となって音楽を楽しんだ。</p> <p>【出演】 熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）、荒川琢哉（コンガ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年9月8日(木)	
	会場	目黒区立五本木小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 62人	
事業内容	<p>めぐろバレエ祭りを共催している、目黒区を拠点にする東京バレエ団のダンサーを講師に、小学4年生を対象とした体験型プログラムを実施した。パ・ド・ドウの実演やバレエについての説明も交え、バレエを知り、楽しみながら体験できるプログラムとなった。</p> <p>【出演】 中川美雪、加藤くるみ、海田一成（東京バレエ団ダンサー）、松木慶子（ピアノ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年9月15日(木)	
	会場	目黒区立上目黒小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生103人	
事業内容	<p>ソプラノとテノールの二重唱による声楽のアウトリーチを実施した。歌の内容、曲の説明、聴き方等の話を織り交ぜながら独唱、二重唱、ピアノ独奏等さまざまな曲目を楽しめるプログラムが演奏された。演奏後のQ&Aコーナーでは、積極的に手が上がっていた。</p> <p>【出演】 鵜木絵里(ソプラノ)、布施雅也(テノール)、大野真由子(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>		
3 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年9月20日(火)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校 体育館	
	入場者	3~5歳児70人 目黒区立みどりがおかこども園の園児	
事業内容	<p>めぐろバレエ祭りを主催し、目黒区を拠点に活動する東京バレエ団のダンサーを講師に、3歳から5歳児を対象とした体験型プログラムを実施した。会場は、休校日だった緑ヶ丘小学校の体育館を借りて行った。</p> <p>パ・ド・ドウの実演を鑑賞し、講師が示すポーズを真似し、スキップをしながら直線を走るなど、年齢に合わせた内容でバレエの一端を体験してもらった。</p> <p>【出演】 上田実歩、安西くるみ、後藤健太郎(東京バレエ団ダンサー)、松木慶子(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年9月21日(水)	
	会場	目黒区立げっこうはらこども園 南園舎・遊戯室	
	入場者	3～5歳児70人	
事業内容	<p>ぱんだウインドオーケストラのメンバーによる木管三重奏のプログラムを3歳児と4歳児、5歳児に分けて2回廻して実施した。</p> <p>楽器の紹介では、それぞれの特徴を分かりやすく説明しながら、馴染みのあるクラシック曲を交えて楽器の音色を知る工夫が盛り込まれていた。</p> <p>また、「さんぽ」や「パプリカ」など耳だけではなく体を動かしながら音楽を楽しめるプログラムも人気であった。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管三重奏 山本楓(オーボエ)、照沼夢輝(クラリネット)、大内秀介(ファゴット)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年10月12日(水)	
	会場	目黒区立菅刈小学校 体育館	
	入場者	小学4年生60人	
事業内容	<p>熱帯JAZZ楽団のメンバーによる、ラテン・ジャズのプログラムを開催した。</p> <p>1時間のプログラムだったため、楽器紹介やラテン音楽の歴史などの説明コーナーでは、出演者が児童たちに問いかける場面が多く、演奏だけではない充実したプログラムとなった。</p> <p>【出演】 熱帯JAZZ楽団 カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年10月13日(木)	
	会場	目黒区立月光原小学校 音楽室	
	入場者	小学4年生64人	
事業内容	<p>会場は、新型コロナウイルス感染拡大前のように、より間近で聴いてもらいたいという先生の意向で、音楽室での実施となった。</p> <p>ほとんどの子どもが初めてヴァイオリンの音を生で聞いたということだったが、間近で聴く演奏の迫力や音の大きさに驚きながらも楽しんでいる様子がかげえ、質問コーナーでは多くの質問が出ていた。</p> <p>【出演】 弓新(ヴァイオリン)、大須賀恵里(ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年10月13日(木)	
	会場	目黒区立東根小学校 体育館	
	入場者	小学6年生129人	
事業内容	<p>昨年度に引き続き、金管五重奏のプログラムを体育館で開催した。</p> <p>東根小学校は管楽器クラブがあることから、金管楽器に馴染みのある児童も多く、指揮者が居ない編成でどのように息を合わせているのかなど、音楽を楽しみながらも一つ一つの出演者の仕草や行動に注目しながら聴いている様子だった。</p> <p>【出演】 原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、伊藤舜(ホルン)、山内正博(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年10月27日(木)	
	会場	目黒区立中目黒小学校 体育館	
	入場者	小学6年生111人	
事業内容	<p>熱帯 JAZZ 楽団のメンバーによる、ラテン・ジャズのプログラムを開催した。対象学年の子どもたちは授業内の合奏で打楽器を演奏しており、演奏中も質問コーナーもプログラムに参加する積極性が見受けられた。コンガやボンゴといった楽器に興味が集まっていた。</p> <p>【出演】 熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (コンガ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年10月28日(金)	
	会場	目黒区立宮前小学校 体育館	
	入場者	小学4年生46人	
事業内容	<p>ヴァイオリニスト加藤知子と、モスクワ音楽院で研鑽を積み現在は日本を拠点に活動しているピアニスト、エマニュエル・リモルディが初顔合わせで出演した。</p> <p>プロコフィエフのソナタ2番やフランクのソナタから楽章を抜粋し、子どもが集中できる演奏時間に配慮しながらヴァイオリンとピアノの名作を取り上げ、リモルディのピアノソロも交えたプログラムを演奏した。</p> <p>【出演】 加藤知子 (ヴァイオリン)、エマニュエル・リモルディ (ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年10月28日(金)	
	会場	目黒区立駒場小学校 体育館	
	入場者	小学6年生85人	
事業内容	<p>熱帯 JAZZ 楽団のメンバーによる、ラテン・ジャズのプログラムを開催した。学校楽器による楽器体験では、出演者が選んだ学校楽器を児童が鳴らして音の違いを発見するなど、子どもたちは普段使っている楽器の知らない一面に出会う体験ができた。</p> <p>【出演】 熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）、荒川琢哉（コンガ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ⑯	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年11月11日(金) (2回) 令和4年11月25日(金) (1回)	
	会場	東京都立目黒高校 音楽室	
	入場者	高校1年生90人(各回30人)	
	事業内容	<p>今年度より当事業の対象を目黒区内の私立を含めた高校までとして実施することになり、高校では初めての実施となった。</p> <p>ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ第9番の第2・3楽章を中心に据え、作品の説明は小学校や中学校での実施よりも詳しく、時間配分も拡大した構成にした。プログラム終了後も生徒たちが演奏家に直接質問をするほか、音楽大学への進路の相談をするなどの交流がみられた。</p> <p>【出演】 渡辺玲子（ヴァイオリン）、坂野伊都子（ピアノ）</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

3 ⑰	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年11月16日(水)	
	会場	目黒区立第八中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 77人 特別支援学級 12人 計89人	
事業内容	<p>ソプラノとバリトンの二重唱による声楽のアウトリーチを実施した。 曲目が多く長めのプログラムだったが、生徒たちは集中力を切らすことなく最後まで聴いていた。演奏後のQ&Aコーナーでは、将来を考え始めた中学2年生ならではの質問が寄せられていた。</p> <p>【出演】 藤井冴 (ソプラノ)、小林大祐 (バリトン)、大野真由子 (ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>		
3 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年11月29日(火)	
	会場	小ホール	
	入場者	目黒区心身障害者センターあいアイ館 21人、職員21人 計42人	
事業内容	<p>ソプラノとテノールの二重唱による声楽のアウトリーチを実施した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い2年間開催を留保していた。 以前はあいアイ館の視聴覚室で開催していたが、今年度はセンターのスタッフと開催について協議を重ねた結果、小ホールで声楽のプログラムを開催することとした。 実施後、あいアイ館の職員からは利用者が非常に楽しんでいて、との報告があった。</p> <p>【出演】 荒牧小百合 (ソプラノ)、土崎譲 (テノール)、古川かりん (ピアノ)</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>		Photo_Satoshi Watanabe

3 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	 <p>Photo_Satoshi Watanabe</p>
	公演日	令和4年12月1日(木)	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園 遊戯室	
	入場者	3~5歳児 47人	
	事業内容	<p>めぐろパーシモンホール開館20周年記念イベントにて0歳からのコンサートに出演した打楽器トリオ「Maicology」によるプログラムを実施した。</p> <p>自分の身体を使って音を出したり、大きな声で歌うなど小さな子どもでも音楽に参加できるようなプログラム構成で、柔らかかであたたかい音を奏でるスティールパンやマリimbaと、それを包み込むパーカッションの音色に子どもたちは興味津々の様子だった。</p> <p>【出演】 Maicology (マイコロジー) 相澤彩絵 (スティールパン)、宮野下シリュウ (マリimba)、中丸達也 (打楽器)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	 <p>Photo_Satoshi Watanabe</p>
	公演日	令和4年12月15日(木)	
	会場	目黒区立第一中学校 体育館	
	入場者	中学3年生 49人	
	事業内容	<p>2015年以来、7年ぶりに落語のアウトリーチを開催した。</p> <p>柳家さん喬の弟子である、二ツ目の柳家やなぎに出演を依頼した。仕草や囃子について解説しながらネタを披露し、途中で内容がわからなくなならないように配慮しながら、新作落語も披露するなど、とても有意義なプログラムとなった。</p> <p>【出演】 柳家やなぎ (落語家)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

3 ②①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	 <p style="text-align: right;">Photo_Satoshi Watanabe</p>
	公演日	令和4年12月19日(月)	
	会場	目黒区立油面小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 88人 特別支援学級 5人 計93人	
	事業内容	<p>ぱんだウインドオーケストラのメンバーによる木管五重奏のプログラムを開催した。対象となる小学4年生は音楽の授業で木管楽器を学習することから、今回のアウトリーチプログラムが実現した。</p> <p>児童は事前の授業で楽器について学んだ後、本事業を通して生の音を聴くことができ、木管楽器や演奏者に対する質問も多く上がったことから、興味関心の高さがうかがえた。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 大久保祐奈(フルート)、山本楓(オーボエ)、篠塚友里江(クラリネット)、皆神陽太(ファゴット)、信末碩才(ホルン)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ②②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和4年12月19日(月)	
	会場	目黒区立原町小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生86人	
	事業内容	<p>津軽三味線、尺八、和太鼓による邦楽のアウトリーチを実施した。曲目は古曲、民謡、オリジナル曲、校歌に加え、ポップスがプログラミングされ、邦楽の可能性を実感できる内容だった。</p> <p>出演者が子どもたちもよく知っているアニメやゲームの音楽に参加しているという話をしたことで、子どもたちの興味がより高まり集中して聴いていた。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

3 ㉓	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	 <p style="text-align: right;">Photo_Satoshi Watanabe</p>
	公演日	令和4年12月20日(火)	
	会場	目黒日本大学中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 87人	
事業内容	<p>今年度より当事業の対象を目黒区内の私立を含めた高校までとして実施することになり、初めての私立中学校での実施となった。</p> <p>クラシックのポピュラーな作品と共にシュニトケの「きよしこの夜」やミハウォフスキ編曲版の「小犬のワルツ」を入れ、最後にツイゴイネルワイゼンを配し、ヴァイオリンとピアノのデュオの魅力とクラシック音楽の多様性を伝えた。トークでは、特にピアノのペダルの機能の解説に大きな反応があった。</p> <p>【出演】 南紫音（ヴァイオリン）、山中惇史（ピアノ）</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ㉔	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年1月27日(金)	
	会場	目黒区立烏森小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 71人	
事業内容	<p>熱帯 JAZZ 楽団メンバーのメンバーによるラテン・ジャズのアウトリーチプログラムを開催した。</p> <p>子どもたちは演奏を聴きながら、実際に学校の楽器を使用して演奏に参加したり、全身で音楽を感じながらに身体を動かしたりと、クラシック音楽とは一味違うラテン音楽を体験することができた。</p> <p>【出演】 熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）、荒川琢哉（コンガ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ㉕	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月2日(木)	
	会場	目黒区立田道小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 56人	
	事業内容	<p>津軽三味線、尺八、和太鼓による邦楽のアウトリーチを実施した。曲目は古曲、民謡、オリジナル曲、校歌に加え、ポップスがプログラミングされ、邦楽の可能性を実感できる内容だった。</p> <p>Q&Aコーナーでは、集中して聴いていたことがよくわかる質問が多く寄せられた。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ㉖	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月7日(火)	
	会場	目黒区立八雲小学校 体育館	
	入場者	小学4、5年生 124人	
	事業内容	<p>金管五重奏のプログラムを体育館で開催した。学内で金管バンドの活動をしていることもあり、子どもたちは積極的に質問するなど、意欲的な様子だった。マウスピースやロータリーを実際に観察したり、演奏技術についての具体的な質問をするなど、全体的に音楽に対しての興味関心が高かった。合唱指導が通常通りに戻っていたため、今回は校歌を一緒に歌った。</p> <p>【出演】 原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、二宮聡美(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

3 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月8日(水)	
	会場	目黒区立大鳥中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 170人 特別支援学級 10人 計180人	
	事業内容	<p>三味線奏者、高橋竹童による津軽三味線、尺八、胡弓の演奏を行った。曲目は「じょんがら節」「おわら節」などの民謡を取り上げた。また、大鳥中学校では音楽の授業で三味線を体験することがあるため、楽器の構造や演奏方法、種類など解説を交えながら進行し、演奏終了後の質問コーナーでは、生徒からの様々な疑問に丁寧に答えていただいた。</p> <p>【出演】 高橋竹童（津軽三味線、尺八、胡弓）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月8日(水)	
	会場	目黒区立第九中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 53人	
	事業内容	<p>金管五重奏のプログラムを体育館で開催した。曲目の一部をルネサンス期の楽曲に変更し、歴史背景を交えて曲の説明するなど、小学校のプログラムより中学生向けの内容になっていた。吹奏楽部は数人程度で、金管楽器の経験者が少ないためか反応はあまり大きくなかったものの、真面目に鑑賞している様子だった。</p> <p>【出演】 原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、二宮聡美（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

3 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月14日(火)	
	会場	目黒区立向原小学校 体育館	
	入場者	小学5年生44人	
事業内容	<p>ソプラノとバリトンの二重唱による声楽のアウトリーチを実施した。 プログラムの最後には、新型コロナウイルス感染症の影響で見合わせていた合唱指導のコーナーを学校側の希望で久しぶりに行った。3年間ほとんど合唱の授業ができなかったためか、最初はあまり声が出ていなかったが、出演者の指導により声が遠くへ飛ぶようになっていった。</p> <p>【出演】 鵜木絵里(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>		
3 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月14日(火)	
	会場	自由ヶ丘学園高校 カフェテリア	
	入場者	高校1~3年生の吹奏楽部員17人	
事業内容	<p>ワールドミュージック(ラテン・ジャズ)のジャンルで演奏している編成にサクソフォンを加えた5名でのアウトリーチプログラムを実施した。 ラテン・ジャズの基本リズムや楽器の使い方などを解説と生徒の実践を踏まえて紹介するなど、対象者の年齢に合わせたプログラミングがされており、プログラム終了後には、生徒たちが出演者に日々の部活動において感じている疑問や音楽への向き合い方など、積極的に質問している姿が見受けられた。</p> <p>【出演】 熱帯JAZZ楽団 カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)、安川信彦(サクソフォン)</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

3 ③①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月15日(水)	
	会場	目黒区立第十中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 131人	
	事業内容	<p>卒業生でもあるピアニスト白石光隆さんと、マリンバ奏者の浜まゆみさんによる演奏を実施した。</p> <p>「熊蜂の飛行」ではマリンバを一周しながら演奏をするパフォーマンスや、ピアノの内部が分かるよう鍵盤部分を解体し生徒一人一人に見て体験してもらう時間があった。演奏だけでなく新たな体験ができるよう工夫された内容になっていた。</p> <p>【出演】 白石光隆(ピアノ)、浜まゆみ(マリンバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
3 ③②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年2月24日(金)	
	会場	目黒区立碑小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 83人	
	事業内容	<p>津軽三味線、尺八、和太鼓による邦楽のアウトリーチを実施した。</p> <p>曲目は古曲、民謡、オリジナル曲、校歌に加え、ポップスがプログラミングされた。感染症対策をとりながらも、子どもたちにより近くで音を聴いてもらうため、尺八奏者が子どもたちの周囲を歩きながら演奏した。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年3月7日(火)	
	会場	目黒区立目黒中央中学校 体育館	
	入場者	中学3年生 196人	
3 ③	事業 内容	<p>ワールドミュージックのアウトリーチプログラムとして、初めてフラメンコで開催した。事前に出演者サイドと入念に打ち合わせを行い、今回は踊り3名、歌、ギター、お話の計6人の編成とした。生徒数が多いため2回に分けて行った。</p> <p>目黒中央中にとっては初めてのアウトリーチプログラムだったが、手拍子で演奏に参加することで、集中して鑑賞していた。</p> <p>【出演】 小松原庸子（お話）、北山由佳、藤川淳美、関真知子（踊り）、齋藤克己（歌）、宇田川卓俊（ギター）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

令和4年度めぐろパーシモンホールアウトリーチプログラム実績一覧

NO	月日	施設名	参加者	出演者
1	令和4年 6月10日(金)	不動小学校	5年生 95人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、鈴木優(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、田村優弥(チューバ)
2	7月5日(火)	鷹番小学校	3年生等 90人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、照沼夢輝(クラリネット)、皆神陽太(ファゴット)、濱池宗(ホルン)
3	7月13日(水)	緑ヶ丘小学校	5、6年生 90人	読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄(トランペット)、重井吉彦(トランペット)、久永重明(ホルン)、栗田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
4	8月29日(月)	第十一中学校	2年生 70人	原田照久(トランペット)、日置彩乃(トランペット)、豊田実加(ホルン)、黒木良太(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
5	9月1日(木)	下目黒小学校	5年生 64人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
6	9月8日(木)	五本木小学校	4年生 62人	東京バレエ団ダンサー 中川美雪(ダンサー)、加藤くるみ(ダンサー)、海田一成(ダンサー)、松木慶子(ピアノ)
7	9月15日(木)	上目黒小学校	5、6年生 103人	鶴木絵里(ソプラノ)、布施雅也(テノール)、大野真由子(ピアノ)
8	9月20日(火)	みどりがおか こども園	3~5歳 児 70人	東京バレエ団ダンサー 上田実歩(ダンサー)、安西くるみ(ダンサー)、後藤健太郎(ダンサー)、松木慶子(ピアノ)
9	9月21日(水)	げっこうはら こども園	3~5歳 児 70人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 山本楓(オーボエ)、照沼夢輝(クラリネット)、大内秀介(ファゴット)
10	10月12日(水)	菅刈小学校	4年生 60人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
11	10月13日(木)	月光原小学校	4年生 64人	弓新(ヴァイオリン)、大須賀恵里(ピアノ)
12	10月13日(木)	東根小学校	6年生 129人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、伊藤舜(ホルン)、山内正博(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
13	10月27日(木)	中目黒小学校	6年生 111人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
14	令和4年 10月28日(金)	宮前小学校	4年生 46人	加藤知子(ヴァイオリン)、エマニュエル・リモル ディ(ピアノ)
15	10月28日(金)	駒場小学校	6年生 85人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
16	11月11日(金) 11月25日(金)	都立目黒高校	1年生 90人	渡辺玲子(ヴァイオリン)、坂野伊都子(ピアノ)
17	11月16日(水)	第八中学校	2年生等 89人	藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、 大野真由子(ピアノ)
18	11月29日(火)	心身障害者セン ターあいアイ館	21人 (職員21 人)	荒牧小百合(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、 古川かりん(ピアノ)
19	12月1日(木)	ひがしやま幼稚園	3~5歳 児 47人	Maicology(マイコロジー) 相澤彩絵(スティールパン)、宮野下シリユウ(マリ ンバ)、中丸達也(打楽器)
20	12月15日(木)	第一中学校	3年生 49人	柳家やなぎ(落語家)
21	12月19日(月)	油面小学校	4年生等 93人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 大久保祐奈(フルート)、山本楓(オーボエ)、 篠塚友里江(クラリネット)、皆神陽太(ファゴッ ト)、信末碩才(ホルン)
22	12月19日(月)	原町小学校	5、6年生 86人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚 (尺八)、大多和正樹(和太鼓)
23	12月20日(火)	目黒日本大学 中学校	2年生 87人	南紫音(ヴァイオリン)、山中惇史(ピアノ)
24	令和5年 1月27日(金)	烏森小学校	5年生 71人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
25	2月2日(木)	田道小学校	5年生 56人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚 (尺八)、大多和正樹(和太鼓)
26	2月7日(火)	八雲小学校	4、5年生 124人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペッ ト)、二宮聡美(ホルン)、廣田純一(トロンボ ーン)、山崎勇太(チューバ)
27	2月8日(水)	大鳥中学校	2年生等 180人	高橋竹童(津軽三味線、尺八、胡弓)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
28	令和5年 2月8日(水)	第九中学校	2年生 53人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、二宮聡美(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
29	2月14日(火)	向原小学校	5年生 44人	鵜木絵里(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)
30	2月14日(火)	自由ヶ丘学園 高校	吹奏楽部 員 17人	熱帯JAZZ楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)、安川信彦(サクソフォン)
31	2月15日(水)	第十中学校	2年生 131人	白石光隆(ピアノ)、浜まゆみ(マリンバ)
32	2月24日(金)	碑小学校	6年生 83人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
33	3月7日(火)	目黒中央中学校	3年生 196人	小松原庸子(お話)、北山由佳(踊り)、藤川淳美(踊り)、関真知子(踊り)、齋藤克己(歌)、宇田川卓俊(ギター)

[合計33施設/2,747人]

(小学校19校、中学校8校、高校2校、こども園2園、幼稚園1園、その他1施設)

4 芸術文化情報の収集と発信

主催事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行やSNS等、様々な媒体を活用しながら、利用者にとってより分かりやすい芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1) 情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.80 夏号	令和4年7月3日	80,000部	74,000部
VOL.81 秋号	令和4年10月2日	80,000部	74,000部
VOL.82 冬号	令和5年1月5日	80,000部	74,000部
VOL.83 春号	令和5年3月19日	80,000部	74,000部

アートレターの紙面は、8ページ構成のカラーで発行している。内容も公演情報だけではなく、出演者へのインタビュー記事を掲載する等、公演の特色を分かりやすく紹介している。

(2) 広報一覧 ★は20周年広報として実施

広報媒体		目的・結果等
自社媒体	★ 20周年キャッチコピー・ロゴ	周年事業のコンセプトを基にキャッチコピーを定め、その内容に沿ったロゴを作成することで、周年事業全体のデザインの統一感を図った。
	★ 20周年総合チラシ・ポスター	周年事業の周知を図るため、印刷物を制作し各所に配布配架した。 ポスターについては、東急電鉄株式会社にご協力いただき、区内の東急電鉄沿線の各駅にポスターを掲示していただいた。
	★ 商店街フラッグ・館内サイン・フォトパネル	めぐろパーシモンホール開館20周年の周知を図るため、近隣の商店街にご協力いただき、最寄駅からホールまでの通りにフラッグを掲出した。 また、めぐろ区民キャンパスの入口などに20周年の装飾を行うと共に、周年事業の開催時にはホワイトエにフォトスポットとして大型パネルを設置し特別感を演出し、来場者が自らSNSを用いてめぐろパーシモンホール開館20周年を発信できる仕掛けを作った。
	★ 20年のあゆみ展	めぐろパーシモンホール開館当初からこれまでに開催してきた事業をシリーズ毎に紹介する展示とともに、周年事業の報告をめぐろ区民キャンパスプラザ地下1階で開催した。 期間:令和5年3月4日(土)~5月31日(水)
	★ 20周年記念グッズ・記念切手	めぐろパーシモンホール開館20周年の周知を図るため、周年ロゴを活用した記念切手を作成し、年度を通して活用した。 また、感謝の気持ちを込めてホールの記念グッズ(エコバック・キーホルダー・クリアファイル)を制作し、公演来場者やホール関係者へ無料配布すると共に、ホールチケットセンターにて販売も行った。

広報媒体	目的・結果等
★ 情報紙「アートレター」	<p>【個人発送】 869 人 ※ 前年度より 21 人増</p> <p>公演情報と併せて、周年事業の紹介や広報ボランティアの活動報告など企画ページを充実させた。 また、希望者には個人発送も実施し、周知に努めた。</p>
★ ホームページ	<p>【全体アクセス数】 1,024,975 ※ 前年度より 257,614 件増</p> <p>「めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念公演」とその出演者からのメッセージを掲載した 20 周年特設サイトを開設した。 また、現在ホールの取組への興味や関心を喚起するため、開館から実施しているシリーズ公演を紹介するアーカイブコンテンツを作成している。</p>
SNS	<p>【Twitter】 投稿:371 件、フォロワー数:1,059 人 ※ 前年度より投稿 159 件増、フォロワー数 354 人増</p> <p>【Facebook】 投稿:179 件、フォロワー数 709 人 ※ 前年度より投稿 13 件増、フォロワー数 134 人増</p> <p>SNSを効果的に活用し、チケットの販売促進やホール PR に繋げた。公演の雰囲気が伝わるような写真や動画をアップし、引き続き拡散したくなるような素材について工夫していく。</p>
YouTube(動画)	<p>【チャンネル登録者数】 704 人 ※ 前年度より 485 人増</p> <p>【動画投稿数】 13 本(事業参加者へ限定公開した動画 3 本)</p> <p>【フレッシュ名曲コンサート 出口大地×亀井聖矢×読響】 アーカイブ配信 (24,207 回視聴)</p> <p>【原田慶太楼×ぱんだウインドオーケストラ】 J.バーンズ:パガニーニの主題による幻想変奏曲 アーカイブ配信 (23,931 回視聴)</p>
メールマガジン	<p>【配信】 20 件</p> <p>【登録者数】 7,038 人 ※ 前年度より 1,093 人増</p> <p>各事業のチケット発売に合わせて配信するほか、チケット購入者に絞った公演に関するご案内等で活用した。</p>

広報媒体		目的・結果等
他社媒体	★ めぐろ区報各区内施設	区報に情報を掲載するほか、7/15号にめぐろパーシモンホール開館20周年を記念した特集ページを掲載した。 そのほか、区内小中学校等にチラシの配架やポスターの掲示を行った。
	他施設等	他のホールや図書館、出版社、店舗等にチラシ等を配布し、幅広い方々に周知した。
	都立大学駅前ポスター掲出	通年で1か所掲出した。各事業のポスターを掲出し、駅利用者等に周知した。
	目黒区内の各駅構内(6駅)	目黒区内の各駅構内に情報紙「アートレーター」を配架した。
	駅構内ポスター掲出	東急電鉄等の主要駅構内にB1版のポスターを掲出した。 掲出駅は、中目黒駅、二子玉川駅、みなとみらい駅、池袋駅、溜池山王駅
SNS広告	<p>SNSを活用した広報の一環として、「加藤訓子 スティーブ・ライヒ プロジェクト」と「4人のバリトンコンサート」の事業で、Facebook・Instagram広告を実施した。配信した投稿には「いいね」やリツイートなど多くの反響があった。</p> <p>通常、SNS広告はクリック率1%を目指して運用していくが、今回実施した3件はクリック率が目標値より高く、一定の効果があった。</p> <p>【Facebook・Instagram 広告】</p> <p>① 令和4年10月11日～10月15日 「加藤訓子スティーブ・ライヒ プロジェクト」 表示回数:287,015 リンククリック数 4,123(1.44%)</p> <p>② 令和4年11月29日～12月10日 「加藤訓子スティーブ・ライヒ プロジェクト」第2弾 表示回数:216,575 リンククリック数 3,886(1.79%)</p> <p>③ 令和4年12月19日～5年1月6日 「バリトンコンサート」 表示回数:354,219 リンククリック数 3,845(1.09%)</p> <p>〈前年度フレッシュ名曲コンサート SNS 広告実施参考〉</p> <p>[Facebook] 表示回数:184,632、リンククリック数 1,666(0.90%)</p> <p>[Instagram] 表示回数:25,484、リンククリック数 276(1.08%)</p>	
音楽雑誌広告	<p>① 【ぶらあぼ】 8月号、9月号、10月号、1月号、3月号 複数事業をまとめて掲載し、出稿サービスとして一部の事業を公演紹介記事として掲載した。</p> <p>② 【intoxicate vol.160】 令和4年10月10日発行号に「加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒ・プロジェクト」の広告を出稿すると共に、出演者にインタビューを行い、その内容を記事として掲載した。</p>	

第2 受託事業

1 芸術文化事業（定款第4条第1項第2号）

（1）受託事業（2事業＝16公演）

No.	内容		
1 ① ⑬	公演名	第57回 目黒区文化祭	
	公演日	令和4年4月2日（土）～ 11月12日（日）	
	会場	大ホール、小ホール、美術館区民ギャラリー	
	料金等	入場無料	
	事業内容	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施した。	

【内訳】

No.	公演日	公演名	施設名	来場者 (延べ人数)
①	令和4年 4月2日（土）、3日（日）	華道展	美術館 区民ギャラリー	203人
②	4月17日（日）	自主グループ公演	大ホール	150人
③	4月20日（水）～24日（日）	自主グループ展示発表	美術館 区民ギャラリー	355人
④	5月21日（土）	謡曲大会	小ホール	80人
⑤	5月22日（日）	民踊まつり	小ホール	63人
⑥	5月31日（火）	邦楽演奏会	大ホール	115人
⑦	10月8日（土）	音楽祭	大ホール	500人
⑧	10月16日（日）	民謡大会	区民センター ホール	133人
⑨	10月22日（土）	洋舞祭	大ホール	397人
⑩	10月29日（土）	日本舞踊大会	大ホール	260人
⑪	11月3日（木・祝）	吟剣詩舞道大会	小ホール	60人
⑫	11月5日（土）	演劇祭	小ホール	186人
⑬	11月12日（土）	合唱祭	大ホール	502人

[合計 3,004人]

No.	内容		
	公演名	めぐろオータムアート 2022 第 10 回音楽と美術のワークショップ 音から絵へ、絵から音へ ～音を聴いて 大きなキャンバスに絵を描こう～	
	公演日	令和 4 年 10 月 22 日 (土)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 2,000 円 (材料費・保険料込み)	
	入場者	参加者 22 人【定員 20 名】	
2 ①	事業 内容	<p>目黒区美術館との共同ワークショップ。 2011 年にホールで開催し、〈国宝〉上杉本 洛中洛外図屏風から生まれた音楽から絵を描いた「音と絵のワークショップ」のリバイバルとして、子どもから大人まで参加できるワークショップを開催した。</p> <p>本事業は、タイトルの通り、絵から音楽が生まれ、その音楽から新たな絵が生まれるという連続絵画として、2011 年以降も大分県立美術館等で継続的に開催されてきたものである。</p> <p>今回は、2011 年の当時の作品と、大分県で 2016 年に開催された作品を会場に展示すると共に、絵から生まれた楽曲を生演奏で聴く機会を設けるなどして、作品同士が繋がりを持っている事を分かりやすく提示した。また、今回のワークショップで完成した作品から音楽家がある場で作曲し演奏を披露したことで、音楽が生み出される貴重な場面を参加者と共有することが出来た。</p> <p>なお、本ワークショップで創り上げた作品は、めぐろ区民キャンパス地下 1 階プラザに 1 週間展示した。</p> <p>【講師】 榎本寿紀 (美術家)、鈴木広志 (サクソフォン/作曲家)、田中庸介 (ギター/作曲家)、小林武文 (ドラム・パーカッション/作曲家)</p>	
2 ② ③	公演名	めぐろオータムアート 2022 旧前田家本邸洋館サロンコンサート バロック・ハープ&ソプラノ	
	公演日	令和 4 年 11 月 26 日 (土) ① 11 時 30 分開演 ② 14 時 00 分開演	
	会 場	旧前田家本邸洋館	
	料金等	[全席自由] 500 円	
	入場者	① 23 人【定員 30 名】 / 完売 ② 27 人【定員 30 名】 / 完売	

	事業 内容	<p>旧前田家本邸洋館でバロック・ハープとソプラノのトーク付きコンサートを開催した。新型コロナウイルス感染拡大前は80名の定員で開催していたが、施設を管轄する東京都の担当者より「30名程度で運用している」との話を受け、定員30名の2回公演で開催した。</p> <p>声楽のプログラムのため、客席と演奏者の間を5m離し、市松模様になるよう観客用の椅子を配置し、感染症対策を講じ、来場者からは雰囲気のある場所での開催について大変好評だった。</p> <p>【出演】 西山まりえ（バロック・ハープ）、川越塔子（ソプラノ）</p> <p>【曲目】 マイオーネ：トッカータ第1番 J.S. バッハ：《ゴルトベルク変奏曲》BWV988 ト長調よりアリア フレスコバルティ：第3旋法のトッカータ カッチーニ：アマリッリ麗し ヴァヴィロフ：カッチーニのアヴェ・マリア J.S. バッハ：管弦楽組曲第3番 BWV1068 ニ長調より「G線上のアリア」 三木露風（作詞）・山田耕筰（作曲）：赤とんぼ 竹久夢二（作詞）・山田耕筰（作曲）：なみだ 竹久夢二（作詞）・多忠亮（作曲）：宵待草 J.S. バッハ=グノー：アヴェ・マリア</p> <p>〈アンコール〉 ヘンデル：私を泣かせてください</p>
--	----------	--

(2) 指定管理事業 (1事業 = 7公演)

No.	内容		
1 ① ②	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト 加藤訓子ソロ・パフォーマンス 「フェイズ／ドラミング」	 <p>Photo_Takako Miyachi</p>
	公演日	令和 4 年 10 月 21 日 (金) ① 15 時開演 ② 19 時開演	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 3,500 円	
	入場者	① 104 人【定員 114 名】／完売 ② 107 人【定員 114 名】／完売	
	事業内容	<p>現代音楽の巨匠スティーヴ・ライヒの作品を、世界で活躍するパーカッショニスト加藤訓子がプロデュースする大ホール・小ホールでの公演や作品解説レクチャー、区民参加型ワークショップを通して紹介するプロジェクトを実施した。</p> <p>当事業は音楽監修者でもあるパーカッショニスト・加藤訓子によるソロ・パフォーマンスで幕を開けた。本来は 2 台のピアノのための作品や、12 人編成の打楽器アンサンブル作品を、全てのパートを加藤訓子が演奏した多重録音と本人の実物大の映像と、本人の生演奏の「共演」で表現し、独特の世界観を生み出した。</p> <p>【出演】 加藤訓子</p> <p>【曲目】 スティーヴ・ライヒ作曲 「ピアノ・フェイズ」 ヴィブラフォン編曲版 (世界初演) 「ドラミング」 ソロ・パフォーマンス編曲版</p> <p>【制作協力】 特定非営利活動法人芸術文化ワークス</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>	
1 ③	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト レクチャー「ドラミング」	 <p>Photo_Atsushi Yamaguchi</p>
	公演日	令和 4 年 11 月 13 日 (日) 14 時開始	
	会 場	中目黒G T プラザホール	
	料金等	[参加費] 1,000 円	
	入場者	27 人【定員 30 名】予約受付終了	

	事業内容	<p>大ホール公演で演奏する作品「ドラミング」を、若手打楽器奏者グループ inc. percussionists 2022 メンバーの実演を交えながら、加藤訓子が解説した。 レクチャー受講者で希望する人は、続けてクラッピング・ミュージックワークショップに参加した。</p> <p>【制作協力】 特定非営利活動法人芸術文化ワークス</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>
1 ④	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト レクチャー「カウンターポイント」
	公演日	令和 4 年 11 月 27 日（日）14 時開始
	会場	中目黒GTプラザホール
	料金等	[参加費] 1,000 円
	入場者	27 人【定員 30 名】予約受付終了
	事業内容	<p>大ホール公演で演奏する作品「カウンターポイント」を、inc. percussionists 2022 メンバーの実演を交えながら、加藤訓子が解説した。 レクチャー受講者で希望する人は、続けてクラッピング・ミュージックワークショップに参加した。</p> <p>【制作協力】 特定非営利活動法人芸術文化ワークス</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>
1 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト 「クラッピング・ミュージック」ワーク ショップ
	公演日	令和 4 年 11 月 13 日（日）15 時 30 分開始 令和 4 年 11 月 27 日（日）15 時 30 分開始 令和 4 年 12 月 7 日（水）19 時 00 分開始 令和 4 年 12 月 10 日（土）本番前 令和 4 年 12 月 11 日（日）本番前
	会場	中目黒GTプラザホール、大ホール
	料金等	[参加費] 1,000 円
	入場者	35 人【定員 30 名・先着】



Photo_Atsumushi Yamaguchi



Photo_Atsumushi Yamaguchi

	事業内容	<p>加藤訓子と inc. percussionists 2022 のメンバーを講師に、スティーヴ・ライヒの手拍子のみの作品「クラッピング・ミュージック」を練習し、希望者は本番のアンコールで出演者と一緒に演奏できるワークショップを実施した。</p> <p>打楽器の経験の有無にかかわらず、小学生から幅広い年代の参加者が集まり、3回の練習を経て当日のリハーサルと本番に臨んだ。自宅での自主練習の様子をSNSで発信する、講師に熱心に質問する、参加者同士で交流するなど、参加者が思い思いに楽しむ様子が見られた。</p> <p>【制作協力】 特定非営利活動法人芸術文化ワークス</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>
1 ⑥	公演名 公演日 会場 料金等 入場者	<p>めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト Day 1 「カウンターポイント・ライヴ」</p> <p>令和 4 年 12 月 10 日（土）</p> <p>大ホール</p> <p>[全席指定] 一般 3,000 円 高校・大学生 1,000 円 小・中学生 500 円 (大ホール 2 日セット券) 一般 5,500 円</p> <p>917 人【定員 1,026 名】 ※ 前舞台 146 席＋撮影席 28 席を除く</p>
	事業内容	<p>大ホール公演には加藤訓子と、加藤が指導し練習を積み重ねてきた若手打楽器奏者グループ inc. percussionist 2022 をメインとする演奏家が出演した。</p> <p>Day1 では、鍵盤打楽器を中心としたプログラムが組まれた。演奏機会の少ない作品が紹介され、ライヒの人気作品であるクラリネットやエレキギターのために作曲したそれぞれの「カウンターポイント」を加藤訓子が打楽器用に編曲し、ライヒ本人にも認められた数作品が初めて演奏会で披露された。</p> <p>アンコールの「クラッピング・ミュージック」はワークショップ参加者と共に演奏した。</p> <p>【出演】 加藤訓子、inc. percussionists 2022（パーカッション） 吉川真澄、丸山里佳、向笠愛里（ヴォイス）</p> <p>【曲目】 スティーヴ・ライヒ作曲 マレット楽器、声とオルガンのための音楽 ナゴヤ・マリンバ マレット・カルテット シックス・マリンバ・カウンターポイント ヴァーモント・カウンターポイント（ヴィブラフォンとグロッケン編曲版） ニューヨーク・カウンターポイント（マリンバ編曲版） <アンコール> クラッピング・ミュージック ※ 開場から開演の間にホワイエで inc. percussionists 2022 メンバーが「クラッピング・ミュージック」を演奏した。</p> <p>【制作協力】 特定非営利活動法人芸術文化ワークス</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>



Photo_Atsumi Yamaguchi

1 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール開館 20 周年記念 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト Day2「ドラミング・ライブ」	 <p>Photo_Atsumi Yamaguchi</p>
	公演日	令和 4 年 12 月 11 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 3,000 円 高校・大学生 1,000 円 小・中学生 500 円 (大ホール 2 日セット券) 一般 5,500 円	
	入場者	849 人【定員 1,026 名】 ※ 前舞台 146 席+撮影席 28 席を除く	
事業 内容	<p>大ホール公演 Day2 にはライヒの代表作ともいえる、5 人の奏者が木片（クラベス）のみで演奏する「木片のための音楽」、ボンゴやグロッケン、マリンバにピッコロや口笛が加わった大型アンサンブルによる 1 時間を超える大作「ドラミング」が並んだ。inc. percussionist 2022 メンバーが精緻かつ熱のこもった演奏を披露し、客席から大きな拍手が贈られた。</p> <p>アンコールの「クラッピング・ミュージック」はワークショップ参加者と共に演奏した。</p> <p>【出演】 加藤訓子、inc. percussionists 2022（パーカッション） 吉川真澄、丸山里佳、向笠愛里、石田彩音（ヴォイス） 井上紗織（ピッコロ）</p> <p>【曲目】 スティーヴ・ライヒ作曲 4 オルガングズ 木片のための音楽 Know What is Above You ドラミング</p> <p>〈アンコール〉 クラッピング・ミュージック ※ 開場から開演の間にホワイエで inc. percussionists 2022 メンバーが「クラッピング・ミュージック」を演奏した。</p> <p>【制作協力】 特定非営利活動法人芸術文化ワークス</p> <p>【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会</p>		

2 施設貸与・管理事業

(1) 施設の保守管理等

職員による日常点検、始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設及び設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、目黒区に報告し、情報の共有を図った。

平成14年9月20日にめぐろパーシモンホールが開館してから20年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は①大ホール及び小ホールの光回線設置工事、②大ホールピンスポットライトの転倒防止に係る修繕、③大ホール及び小ホールのピンスポットライト用の整流器の交換を行った。

その他の不具合については、予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。なお、来年度に利用者から改善要望の多い洋式トイレの新設工事や大ホールの手すり新設工事等を実施する。

① めぐろパーシモンホール

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 舞台機構保守点検 | イ 舞台照明保守点検 |
| ウ 開閉天井照明保守点検 | エ 舞台音響保守点検 |
| オ 客席椅子保守点検 | カ エレベーター・リフト保守点検 |
| キ スタインウェイピアノ保守点検 | ク ヤマハピアノ保守点検 |

② 中目黒G Tプラザホール

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| ア 音響保守点検 | イ 照明保守点検 | ウ ヤマハピアノ保守点検 |
|----------|----------|--------------|

(2) 危機管理体制

① 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 基本的な感染症対策を継続的に行っている。
- イ 感染状況に応じ、施設利用ガイドラインを見直し、利用者に周知した。
- ウ 財団主催事業にて非接触型の電子チケットを導入した。

② 防火・防災対策

- ア 令和4年4月24日（日）第11回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサートを実施した。当初、区民キャンパス公園を避難場所に想定していたが、雨天により初めて大ホールホワイエを避難場所とした。
- イ 区民キャンパス全体の自衛消防訓練に参加し、職員の防災意識を高めることができた。

(3) 利用者サービス

- ① 貸館チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は29件の依頼があった（前年度は14件）。
- ② 昨年度から、チケット販売の際に、電子マネーを取り扱えるように対応した。
- ③ 設備概要の図面、備品リストを最新版に更新した。また、照明設備の概要リストの改訂や音響機材の備品リストの改訂、舞台から客席までの断面図資料の追加などを行い、利用者の利便性を図った。
- ④ 施設利用料の支払いについて、振込希望者が増加傾向のため、簡易な手続きができるよう配布資料の見直しを図った。
- ⑤ 新たに、男性用トイレにサンタリーボックスを設置した。
- ⑥ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化し、毎月開催した。
- ⑦ 利用者アンケートを実施する等、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。特に、施設利用料金やチケット料金の返金対応については丁寧な対応を行った。

⑧ 顧客満足度による評価

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
総件数	243件	260件	95件
評価	4.20	4.20	4.36

※ 施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの対応、施設及び設備の快適性等について、「良い(5点)」、「やや良い(4点)」、「普通(3点)」、「やや悪い(2点)」、「悪い(1点)」の5段階評価(5点満点)をしていただき、回答を集計している。

(4) 新型コロナウイルス感染症に伴う施設利用制限

新型コロナウイルス感染症に伴い目黒区からの要請等により、めぐろパーシモンホール及び中目黒GTプラザホールの施設利用について、次のとおり対応した。

① 施設利用

期間 [事由]	大ホール、小ホール、 中目黒GTプラザホール	めぐろパーシモンホール 諸室
① 4月1日～ [リバウンド警戒期間における取組イベントの開催制限等]	<p>[定員制限]</p> <p>① 舞台と客席を分けた利用で、大声での歓声・声援等がない公演は利用定員まで</p> <p>② 舞台と客席を分けた利用で、大声での歓声・声援等がある公演は利用定員の半数まで</p> <p>③ 舞台と客席を分けない利用は、右記の諸室利用と同様</p> <p>※ 「大声」とは、「観客等が通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」を大声と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当する。</p> <p>※ 大声での歓声・声援等が想定される公演では、座席を1席空ける座席配置とする必要がある。</p>	<p>[利用制限・定員制限]</p> <p>① ダンス利用、合唱・声楽等大声での発声や歌唱を伴う利用以外は利用定員まで</p> <p>② ダンス利用、合唱・声楽等大声での発声や歌唱を伴う利用は人数制限あり</p>
② 5月23日～ [イベントの開催制限等]	<p>[定員制限]</p> <p>上記に同じ</p>	<p>[利用制限・定員制限]</p> <p>上記に同じ</p>
③ 10月25日～ [イベントの開催制限等]	<p>[定員制限]</p> <p>上記に同じ</p> <p>※ 主な変更点 来場者の連絡先等の収集を中止した。 また、冷水器、ビュッフェの運営を再開した。</p>	<p>[利用制限・定員制限]</p> <p>上記に同じ</p>

期間 [事由]	大ホール、小ホール、 中目黒G Tプラザホール	めぐろパーシモンホール 諸室
④ 3月13日 ～ 3月31日 [感染拡大防止の取組]	[定員制限] ① 舞台と客席を分けた利用で、 大声での歓声・声援等の有無に 関わらず利用定員まで ② 舞台と客席を分けない利用 は、右記の諸室利用と同様 ※ 主な変更点 マスクの着用について、来場 者は個人の判断により必要に 応じて着脱を行い、公演関係者 は必要に応じてマスクの着用 にご協力いただく。	[利用制限・定員制限] 上記に同じ

② 施設利用料金の還付

新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とする利用の取消し時の施設利用料金は、全額還付の取扱いとした。

なお、令和5年5月8日からの利用については、次のとおり、通常の見扱いに戻ることになった。

ア 大ホール

6か月前：全額還付、3か月前：50%相当還付

イ 小ホール及び中目黒G Tプラザホール

2か月前：全額還付、1か月前：75%相当還付、5日前：50%相当還付

ウ 諸室

20日前：全額還付、10日前：75%相当還付、5日前：50%相当還付

第3 その他事業（定款第4条第1項第4号及び第4条第2項）

1 めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの取組

めぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、当財団と共催して事業を行っている5団体（目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会）が、目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的として、平成23年10月に発足した。

例年は、公演に際し相互に協力しながら、めぐろパーシモンホール大ホールのホワイエでの案内など支援を行い、集客力の強化にも寄与しているが、令和4年度はめぐろパーシモンホール開館20周年に際し、5団体のこれまでの足跡などを掲示し、また本番では来場者からのリクエスト曲を演奏するなど、地域に根差した活動を展開した。

2 ホールの協賛等の運営

(1) 賛助会

ホールの賛助会については、令和4年度は19社、個人会員23人で賛助会費612,000円の収入となり、3年度（26社、個人会員22人、賛助会費783,000円）より、171,000円の減収となった。

(2) 協賛

企業も芸術文化の担い手であり、企業に参加の機会を提供することで、次のとおり企業協力関係を構築することができた。

ア 公益財団法人北野生涯教育振興会

めぐろパーシモンホール開館20周年イベント事業、子どものためのワークショップ事業及びアウトリーチプログラム事業に対して協賛として協賛金（340万円）の支援をいただいた。

イ 昭和製菓（株） 自由が丘 蜂の家

めぐろパーシモンホール開館20周年記念事業（桂文枝 春風亭小朝 新春東西落語名人会）に対して協賛としてお菓子の支援をいただいた。

(3) 助成金

事業名（略称）	助成団体	助成金額
めぐろパーシモンホール開館20周年記念フレッシュ名曲コンサート	公益財団法人 東京都歴史文化財団	3,139,568円
めぐろパーシモンホール開館20周年記念イベント	独立行政法人 日本芸術文化振興会	2,000,000円
めぐろパーシモンホール開館20周年記念 未来の音 ガラ・コンサート 4人のバリトンコンサート スティーヴ・ライヒプロジェクト	独立行政法人 日本芸術文化振興会	3,223,000円
アウトリーチプログラム	独立行政法人 日本芸術文化振興会	426,000円
感染症防止対策助成金	文化庁	444,000円

(4) 情報紙「アートレター」における広告料収入

令和4年度は3年度と同額の847,000円だった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けることなく、各企業から広告料を頂いた。

3 地域と連携した事業

(1) 顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成21年度当初、15店舗の協力で開始した。

この制度は「パーシモンチケ得マップ」に記載されているお店に財団主催又は共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られるものである。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、飲食店を中心に大変な状況だったが、25店舗の協力を得られた。加盟店には店頭オリジナルの加盟店シールを貼っていただくことで、事業の周知を図り、加盟店にはホールの広報に協力して頂いている。

なお、令和4年度は、都立大学商店街連合会を構成する商店街を紹介する「とりつじん」とコラボレーションしたチラシを制作した。

(2) 広報ボランティア

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、広報ボランティアを募集しなかったが、令和4年度はめぐろパーシモンホール開館20周年事業で広く事業等を周知するため、新たに募集を行い、19人（3年度は14人）の参加があった。

主に、チラシやポスター、情報紙の発送作業や主催事業に関する情報をメールで説明し、その内容を口コミで知り合いに広めて頂いた。また、新たにめぐろパーシモンホール開館20周年事業の様子などをレポート作成や撮影し、公式ブログに公開して頂いた。

(3) 商店街との連携

「パーシモンチケ得マップ」では、都立大学商店街連合会を構成する商店街を紹介する「とりつじん」とコラボレーションしたチラシを制作した。また、めぐろパーシモンホール開館20周年事業の広報のため、都立大学商店街連合会に依頼し、都立大学駅周辺の商店街フラッグスペースを活用し、めぐろパーシモンホール開館20周年のフラッグを掲示し、広く開館20周年を周知することができた。

4 職場訪問等の受け入れ

(1) 学校の受け入れ

例年、区立中学校等の職場体験に協力している。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であり、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらった。小学校はめぐろ区民キャンパス全体の施設見学を行った。

No	期間	団体名
1	令和4年 6月22日(水)～6月24日(金)	区立東山中学校(3人)
2	10月27日(木)～10月28日(金)	都立桜修館中等教育学校(3人)
3	11月30日(水)～12月2日(金)	区立第十中学校(1人)
4	令和5年 1月18日(水)～1月20日(金)	区立目黒中央中学校(2人)
5	2月1日(水)	区立東根小学校(124人)
6	2月7日(火)	私立トキワ松学園(10人)

(2) 視察

他団体の視察に積極的に協力した。

No	期間	団体名
1	令和5年2月8日(水)	公益財団法人大田区文化振興協会

(3) インターンの受け入れ

No	期間	団体名
1	令和4年8月29日(月) ~9月22日(木)【10日間】	武蔵野音楽大学(1人)

5 収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置(13台)手数料での収入確保に努めている。いずれも前年度に比べて増加した。自動販売機については、めぐろ区民キャンパスに設置している9台について設置事業者の入れ替えを行ったが、コロナ禍の影響により手数料率が下がったため、販売数が回復しても手数料収入の増加は小さくなった。

補足資料

1 利用実績

施設名	年度	開館日数	全体			時間帯別利用率			曜日別利用率	
			予約可能件数(件)	利用件数(件)	利用率	午前	午後	夜間	平日	土・日祝日
大ホール	4	358	849	693	81.6%	90.0%	88.6%	67.4%	74.4%	92.2%
	3	358	779	618	79.3%	81.2%	78.4%	78.5%	74.7%	86.4%
小ホール	4	358	906	772	85.2%	87.5%	92.9%	75.5%	81.8%	90.8%
	3	358	835	646	77.4%	70.9%	78.2%	83.5%	71.7%	86.7%
リハーサル室 など諸室	4	358	1,000	701	70.1%	71.5%	78.9%	59.7%	65.6%	78.5%
	3	358	801	542	67.7%	67.6%	72.3%	61.1%	63.0%	76.9%
中目黒G T プラザホール	4	359	992	777	78.3%	83.6%	86.9%	63.8%	78.1%	78.8%
	3	359	853	626	73.4%	73.3%	76.9%	67.7%	71.2%	77.8%

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒G T プラザホール		全施設合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンベンション	71	10.2%	119	15.4%	202	4.8%	190	24.5%	582	9.0%
クラシック	184	26.6%	316	40.9%	1,356	32.2%	373	48.0%	2,229	34.6%
ポピュラー	73	10.5%	75	9.7%	270	6.4%	54	6.9%	472	7.3%
演劇	9	1.3%	40	5.2%	95	2.2%	3	0.4%	147	2.3%
ミュージカル	0	0.0%	3	0.4%	4	0.1%	4	0.5%	11	0.2%
舞踊	251	36.2%	109	14.1%	1,230	29.3%	5	0.6%	1,595	24.8%
伝統芸能	33	4.8%	28	3.6%	139	3.3%	21	2.7%	221	3.4%
映像	9	1.3%	5	0.6%	1	0.1%	5	0.6%	20	0.3%
その他	63	9.1%	77	10.0%	907	21.6%	122	15.8%	1,169	18.1%
合計	693	100%	772	100%	4,204	100%	777	100%	6,446	100%
前年度合計	618	100%	646	100%	3,283	100%	626	100%	5,173	100%

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒G T プラザホール		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
一般利用区内	63	9.1%	153	19.8%	1,039	24.7%	125	16.1%	1,380	21.4%
一般利用区外	331	47.7%	313	40.6%	1,449	34.5%	271	34.9%	2,364	36.7%
芸文登録団体	35	5.1%	90	11.7%	671	16.0%	164	21.1%	960	14.9%
公的団体	29	4.2%	15	1.9%	47	1.1%	1	0.1%	92	1.4%
財団	182	26.3%	122	15.8%	830	19.7%	34	4.4%	1,168	18.1%
目黒区	53	7.6%	79	10.2%	168	4.0%	182	23.4%	482	7.5%
合計	693	100%	772	100%	4,204	100%	777	100%	6,446	100%
前年度合計	618	100%	646	100%	3,283	100%	626	100%	5,173	100%

※ 全利用可能件数に対する利用率

【大ホール】財団 21.4%、目黒区 6.2% 【小ホール】財団 13.5%、目黒区 8.7%

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハー サル室 等諸室	中目黒G T プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計	利用者	入場者	関係者	計	
4	10,265	1,995	12,260	3,622	1,343	4,965	915	994	1,046	2,040	20,180
5	8,001	1,957	9,958	2,620	1,109	3,729	1,225	1,085	993	2,078	16,990
6	9,785	1,539	11,324	2,123	996	3,119	1,655	663	1,289	1,952	18,050
7	13,020	3,430	16,450	4,219	837	5,056	1,356	4,409	961	5,370	28,232
8	12,394	3,673	16,067	2,776	1,088	3,864	1,095	997	631	1,628	22,654
9	7,996	1,612	9,608	2,563	636	3,199	1,401	957	876	1,833	16,041
10	12,144	5,001	17,145	3,148	1,018	4,166	1,353	1,100	1,455	2,555	25,219
11	13,068	3,367	16,435	2,659	1,408	4,067	1,156	1,194	1,279	2,473	24,131
12	19,715	3,692	33,407	3,431	1,121	4,552	906	1,082	1,054	2,136	31,001
1	9,651	1,963	11,614	2,172	637	2,809	1,393	1,425	1,148	2,573	18,389
2	12,863	4,471	17,334	2,743	881	3,624	1,432	685	1,057	1,742	24,132
3	9,995	3,051	13,505	3,735	1,680	5,415	1,058	1,656	1,623	3,279	23,257
合計	138,897	36,210	175,107	35,811	12,754	48,565	14,945	16,247	13,412	29,659	268,276
前年度 合計	79,659	24,029	103,688	19,624	10,394	30,018	9,270	9,450	10,937	20,387	163,363

5 利用料金収納実績

(単位：円)

施設名	年度	施設	特殊器具	合計
めぐろパーシモンホール	4	114,945,040	23,693,030	138,638,070
	3	141,338,490	21,778,430	163,116,920
中目黒GTプラザホール	4	13,173,800	914,150	14,087,950
	3	11,357,300	762,400	12,119,700
合計	4	128,118,840	24,607,180	152,726,020
	3	152,695,790	22,540,830	175,236,620

※ 利用料金は、各事業会計上、当該年度利用分と次年度利用分（いわゆる前受金）に分けて計上することとされているが、この表では、目黒区に倣い、利用料金を収納した日の属する年度に区分して計上している。このため、正味財産増減計算書の施設利用料収益とは一致しない。

6 利用料金還付実績

(単位：円)

区分	施設	特殊器具	合計	3年度合計 【前年度実績】
4年度納付分	12,902,760	0	12,902,760	【3年度】 11,806,740
3年度納付分	6,177,775	0	6,177,775	【2年度】 17,822,990
合計	19,080,535	0	19,080,535	29,629,730

7 施設見学会開催実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
開催回数	大ホール	2	2	2	2	1	2	2
	小ホール	2	2	2	2	1	2	2
参加人数		21	12	7	7	12	21	13

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度計
開催回数	大ホール	2	2	2	1	2	22	(21)
	小ホール	1	2	2	2	2	22	(22)
参加人数		21	13	11	13	9	160	(89)

8 個別見学対応実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	17	13	17	8	16	17	14

開催月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度計
見学回数	23	10	10	15	7	167	(140)

Ⅲ 令和4年度目黒区美術館事業報告

★印は新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止又は延期した事業

第1 自主事業（定款第4条第1項第1号）

1 展覧会事業（自主企画展）

①	展覧会名	東京・区立美術館ネットワーク連携事業 「東京の猫たち」	
	会 期	令和4年4月23日(土)～6月12日(日) (44日間)	
	観 覧 料	一般 800(600)円、大高生・65歳以上 600(500)円、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入 館 者	9,600人	
	展示概要	2018年に、東京都内の区立美術館11館で結成した「東京・区立美術館ネットワーク」の連携事業として、コレクションを有する10館からの出品による展覧会を開催した。 どの美術館からも出品できるテーマとして「猫」を取り上げたが、油彩、版画、素描、彫刻、掛軸から工芸まで、参加館のコレクションの特徴を反映した多彩な作品が集まった。 来館者にとっては、親しみやすい「猫」の作品を楽しみながら、普段あまり知られていない都内の区立美術館の活動を知っていただく好機ともなった。	 展示風景(A 展示室)
関連催事	大人のための美術カフェ番外編 「猫でつなぐリレートーク」 開催方法、定員:対面、申込制、各回20名 内容:展覧会に出品したネットワーク参加館10館の学芸員が、3つのテーマ毎に設定された開催日に登壇し、自館のコレクションや今回の出品作品について解説を行った。 ① 「ミステリアスな猫の魅力」 開催日:5月14日(土) 14:00～15:00 ナビゲーター:渋谷区立松濤美術館 学芸員 西美弥子、練馬区立美術館 学芸員 真子みほ、豊島区文化商工部文化デザイン課芸術文化推進グループ 学芸員 小林未央子、目黒区美術館 学芸員 誉田あゆみ 参加者:24人(申込 29人) ② 「猫を愛した芸術家:朝倉文夫、熊谷守一、稲垣知雄」 開催日:5月22日(日) 14:00～15:00 ナビゲーター:台東区立朝倉彫塑館 学芸員 戸張泰子、世田谷美術館 学芸員 三木啓介、豊島区立熊谷守一美術館 学芸員 高橋真樹 参加者:35人(申込 44人) ③ 「今年は寅年、虎と猫」 開催日:6月5日(日) 14:00～15:00 ナビゲーター:板橋区立美術館 学芸員 植松有希、すみだ北斎美術館 学芸員 千葉椎奈、大田区立龍子記念館 学芸員 木村拓也 参加者:23人(申込 30人)	 リレートーク実施風景	
広報実績	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKEテレ「ねこの目美術館」 令和4年5月26日 ・MX テレビ「わたしの芸術劇場」 令和4年6月10日 ・テレ朝動画「Musee du ももクロ(有料配信)」 令和4年6月3日 		

②	展覧会名	目黒区美術館開館 35 周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱	
	会 期	令和 4 年 7 月 9 日(土)～8 月 28 日(日) (44 日間)	
	観 覧 料	一般 700(550)円、大高生・65 歳以上 550(400)円、中学生以下無料、()内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入 館 者	4,704 人	
	展示概要	<p>当館では美術作品のほかに、教材や資料にもいち早く目を向け積極的に収集し、教育普及だけでなく展示にも展開することで、人と作品との距離を一步近づけ、人と美術をつなぐものへと広げてきた。</p> <p>本展は開館 35 周年を記念し、美術館を大切な収蔵品をいれる大きな箱と見立て、今では当館の活動になくてはならないツールとなっている「トイコレクション」「画家の画材・道具」「画材と素材の引き出し博物館」を中心に、当館のユニークな教材・資料のコレクションを紹介した。</p> <p>展示構成は、「画家の画材・道具」、「画材と素材の引き出し博物館」、「トイコレクション」の3部立てとしたが、会場では、「画材と素材の引き出し博物館」が「画家の画材・道具」や、「トイコレクション」のコーナーに入り込むような展示を試み、来場者が自由に道具や画材、木製玩具を鑑賞しながら、その素材の特徴や構造がわかる実物見本を見られるようにした。</p> <p>また、当館が収蔵する教材・資料を本展のように一堂に展示したのは初めてで、当館が教育普及活動を行う上で大事にしている美術作品と「能動的に関わる」ことへとつながる第一歩になった。</p>	 <p>展示室風景(A 展示室)</p>  <p>展示室風景(C 展示室)</p>  <p>展示室風景(B 展示室)</p>
	関連催事	<p>1 トイプレイコーナー ナビゲーター:トイコレクションボランティアチーム 開催期間:会期中の土・日・祝日 13:00～16:00 参加者:1,157 人 内容:展示してあるトイと同じものの一部を実際に触れていただけるコーナーを館内に設置。コロナ禍で遊び場が制限されていることもあり、連日多くの親子連れが楽しんだ。</p> <p>2 講演会① 「手と目で考えるー目黒区美術館のユニークな教材」 講師:降旗千賀子(&4+do) 対面式・事前申込制、募集定員 35 名 開催日:7 月 10 日(日) 14:00～15:30 参加者:33 人(申込 37 人) 内容:当館の開館準備に携わり、開館後の特に教育普及活動の基盤を作り上げた当館元学芸員の降旗氏に、本展で紹介の「トイ」の収集や「画材と素材の引き出し博物館」の誕生についてお話いただいた。 1980 年代の公立美術館を取り巻く状況や大学等での美術・デザインと教育の関係性などが当館の教材収集の背景にあることや、美術と能動的に関われるように教材や資料の収集に込めた思いなどの貴重な話に、参加者は興味深く耳を傾けていた。</p>	 <p>トイプレイコーナー実施風景</p>  <p>講演会① 実施風景</p>

		<p>3 講演会② 「画材の博物誌—アトリエの画材」 講師：森田恒之(国立民族学博物館名誉教授) 対面式・事前申込制、募集定員 35 名 開催日：7 月 23 日(土) 14:00～15:30 参加者：31 人(申込 36 人) 内容：色彩材料や技法研究の第一人者・森田氏に、画家のアトリエにある道具について講演いただいた。 主にイーゼルやパレットが取り上げられ、道具や画材の進歩には、発明や技術改良という先人の知恵と工夫があることや、道具や画材が美術作品の表現にも影響を与えること等、多数の図版とともに解説いただき、普段の美術鑑賞とは違う視点から作品をみるという面白さに気づかせてくれる内容だった。大変興味深い話だったと、参加者からも好評だった。</p>	 <p>講演会② 実施風景</p>
		<p>4 講演会③ 「日本のキャンバス考」 講師：船岡廣正(元フナオカ・キャンバス製造元) 渡邊郁夫(修復研究所 21 所長) 対面式・事前申込制、募集定員 35 名 開催日：7 月 30 日(土) 14:00～15:30 参加者：34 人（申込 27 人＋当日参加者） 内容：初の国産メーカーとして創業し、多くの画家に愛用された「フナオカ・キャンバス」を開発した船岡氏にキャンバスの製造工程をお話しいただいた後、修復家で、古典絵画技法の研究者でもある渡邊氏に画材の「使い手」代表となっていたいただき、「作り手」との双方向からキャンバスを考察した。 作品制作に重要な画材や道具に関しては、高品質なものづくりの継続が難しくなっている現状があり、材料や技術を知ることは美術作品の将来の為にも重要なことだと改めて感じる内容だった。 質疑応答では、専門的な内容が多く、一般的な参加者には少し難しく感じられたようだが、希少な内容の講演会となった。</p>	 <p>講演会③ 実施風景</p>
	<p>広報実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読売新聞「都内版」紹介記事 令和 4 年 8 月 15 日 ・WEB「ウェブ版 美術手帖」展覧会レポート 令和 4 年 8 月 13 日 ・ケーブルテレビ「地モト NEWS」学芸員作品紹介(動画) 令和 4 年 8 月 10 日 ・FM サルース「トピック情報コーナー」 令和 4 年 7 月 17 日 	
<p>③</p>	<p>展覧会名</p>	<p>コレクション解体新書Ⅱ 1970 年代以降の作品を中心に</p>	 <p>1階エントランスホール</p>
	<p>会 期</p>	<p>令和 5 年 2 月 18 日(土)～3 月 26 日(日) (32 日間)</p>	
	<p>観 覧 料</p>	<p>一般 700(550)円、大高生・65 歳以上 550(400)円、中学生以下無料、()内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者 1 名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)</p>	
	<p>入 館 者</p>	<p>2,339 人</p>	

	<p>展示概要</p>	<p>今年度は、開館 35 周年を記念し、「コレクション解体新書」と名付けて、昨年秋とこの度の二期に分けて作品収集のあゆみを紹介する展覧会を企画。本展はその後半で、1970 年代以降の現代美術に焦点をあてた。</p> <p>現代美術は、現代を生きる私たちが抱える問題や価値観などを色濃く反映しながら、展開してきた。そうした作家や作品を取り上げてきた当館の活動も、同様のことが言えるだろう。本展では、当館の誕生と成長の時代を共にした 1970 年代以降の美術作品を、収集経緯やエピソードをまじえながら紹介した。</p> <p>当館が誇る版画集コレクション、近年当館で開催した個展が好評だった村上友晴の作品のほか、宇佐美圭司の「プロフィール(顔)」シリーズや川俣正のインスタレーション・プロジェクトのマーケットなど複数で構成される作品を久しぶりに一堂に展示した。さらに、高松次郎が写真をテーマにした唯一のシリーズ《写真の写真》(45 点組)は他の公立美術館には収蔵されていない貴重な作品であるが、本展では当館の現代美術のコレクションも秀逸なものでもあることを示す機会となった。</p>	 <p>展示室風景(A 展示室)</p>  <p>展示室風景(C 展示室)</p>
	<p>関連催事</p>	<p>講演会 「宇佐美圭司の横顔(プロフィール)」 講師:松沢寿重(新潟市新津美術館 館長) 開催日:3 月 4 日(土) 14:00~15:30 参加者:20 人 内容:美術家・宇佐美圭司に多摩美術大学芸術学科で教えを受け、1994 年より新潟市美術館学芸員として日本の近現代美術の研究と様々な展覧会を企画し、2020 年より現職の松沢氏に、80 年代後半に宇佐美から得た薫陶や共に過ごした時間の思い出、晩年まで続いた交流の様子などをお話しいただいた。</p> <p>作家の人柄がわかるようなエピソードは教え子ならではのものです、また、理知的で難解な印象を与える宇佐美圭司作品の鑑賞の助けとなる内容も盛り込まれ、参加者はじっくりと耳を傾けていた。</p>	 <p>展示室風景(B 展示室)</p>  <p>講演会 実施風景</p>
	<p>広報実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読売新聞「都内版」紹介記事 令和 5 年 3 月 17 日 ・WEB「Fashion Press」紹介記事 令和 5 年 1 月 31 日 ・雑誌「月刊ギャラリー」紹介記事 令和 5 年 2 月 1 日号 	

2 ワークショップ事業

(1) ワークショップ夏【おもちゃ箱・道具箱】

「目黒区美術館開館 35 周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱」に関連したセミナーやワークショップを開催した。

①	<p>講座名</p>	<p>セミナー 「トイヲカタヅケル」</p>	 <p>玩具が世界で一番流通するクリスマスについて資料を用いて説明する様子</p>
<p>実施日時</p>	<p>令和 4 年 7 月 16 日(土) 14:00~15:30</p>		
<p>講師</p>	<p>飯島麻奈美・臼田香太(アトリエタイク) 前富西一馬(文化人類学者、日本大学法学部教員)</p>		
<p>会場</p>	<p>目黒区美術館ワークショップ室</p>		
<p>対象・定員</p>	<p>事前申込制、先着 35 名</p>		
<p>参加者</p>	<p>22 人 (申込 31 人)</p>		

	内 容	郷土玩具の店「アトリエガング」を主宰するデザイナーの飯島氏・臼田氏と、全国各地の文化についてフィールドワークを行う文化人類学者の前嵩西氏より、郷土玩具の特性や、当館の「トイコレクション」との比較、玩具に関する文化や儀礼についてお話いただいた。 玩具の主要な原料である木材をめぐる地域のあり方など、玩具を軸として広く周辺文化を考察し、参加者は熱心にメモを取るなど、充実した時間となった。	
②	講 座 名	オンラインで美術館 「うちんち！ぺちやくちゃミュージアム」	
	実施日時	令和4年 ①7月31日(日)、②8月28日(日) 各日 9:30～10:00	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊（中村良子、山本桃子、澤村幸子）	
	会 場	オンライン(Zoom 使用)	
	対象・定員	事前申込制、各日 10 名	
	参 加 者	① 6 人(申込 7 人)、② 7 人(申込 8 人)	
	内 容	コロナ禍で外出を控える方や、子育てや介護などで出かけることが難しい方が多いことから発案されたオンラインのギャラリーツアー。 開館前の展示室を中継するなど、参加者が家に居ながらにして美術館を楽しめる内容とした。短時間のプログラムだが、実際に小さな赤ちゃんと一緒に参加する方もいて、アンケートでも外出が難しいためこういった企画がうれしいという声もあった。	
③	講 座 名	画材の実験室	
	実施日時	① パステルの日 令和4年8月17日(水)、20日(土) ② 鉛筆の日 令和4年8月16日(火)、18日(木)、19日(金) ※ 各日 13:00～16:00	
	講 師	目黒区美術館学芸員 他	
	会 場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参 加 者	延べ 152 人 8月16日: 27 人、17日: 18 人、18日: 17 人、19日: 25 人、 20日: 65 人	
	内 容	展覧会場で、当館オリジナルの美術教材「画材と素材の引き出し博物館」を見た後に、実際に画材を「お試し」できるプログラム。 鉛筆とパステルを日替わりで 5 日間用意し、参加者は実際にそれらを使用しながら画材の特性を学んだ。中には2つの画材を体験するリピーターもいらした。短時間でお試し程度の方からじっくり 1 時間以上かけて作品にする方など、自由度が高いからこそ参加しやすいこともあったと考えられる。	
④	講 座 名	ワークショップ 「木っておもしろいぞ 木石をつくろう」	
	実施日時	令和4年8月6日(土)、13日(土) 10:30～17:00 ※ 2 日間コース	
	講 師	飛山裕幸(デザイナー)	
	会 場	目黒区美術館ワークショップ室	

	対象・定員	小学3年生以上、事前申込制、10名	  <p>7種類の木の種類から好きなものを選び、糸鋸で切り出して木のように丸くなるように紙やすりで加工し、ミツロウ塗って仕上げた。</p>
	参加者	13人(申込46人)	
	内容	<p>当館開館直後に開催したワークショップで制作され、その後収蔵作品となった《すとん》の作者飛山裕幸氏に、作品が収蔵された経緯やその特徴などをお話しいただいた。</p> <p>Zoomを使って木材提供の大野木工の職人さんと木のお話も伺った。その後、実際に木を切ったり、削ったりして触り心地の良い石のような木の作品「木石(きせき)」を制作した。</p> <p>ひたすら木を研磨することは相当の集中力を要するため、小学生には難しかったようだが、木種による硬さや香りなど、「木」の魅力を存分に体感する様子が見られた。</p>	
⑤★	講座名	ワークショップ 「紙っておもしろいぞ ペーパーファンタジー かめの小箱」	
	実施予定日時	令和4年8月14日(日) 13:00～16:00	
	講師	広井敏通(ペーパーアーティスト)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	小学3年生以上、事前申込制、10名(申込40人)	
※ 講師が新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者となったため中止(令和5年2月19日に開催)			
⑥	講座名	ワークショップ 「みんなの箱世界ーいってみよう、つくってみよう、積み木でつながるわたしの風景」	 <p>棚に作った風景を配置する様子。感染症対策を考え、密にならないよう配慮して制作した。</p> <p>個々の作品を並べ、つなげることで、他家族とも交流できる楽しいプログラムとなった。</p>
	実施日時	令和4年8月11日(木・祝)、12日(金) 各日 13:00～16:00 ※1日コース	
	ナビゲーター	清瀬ゆり亜(ミュージアム・エドゥケーター) 川島冬香(アトリエニキティキ) トイコレクションボランティアチーム	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	2歳以上(保護者を含む2名以上1組。1組最大6名程度まで)、事前申込制、各日6組	
	参加者	延べ32人 8月11日 5組19人(申込27組74人) 8月12日 5組13人(申込17組41人)	
	内容	<p>自分に見立てた指人形を、行ってみたい場所に連れていくことを想像し、展覧会場で作品を鑑賞。</p> <p>その後50cm四方の箱に空間が一つの世界となるように、風景を当館コレクションのトイや木っ端で表現した。最後は、全員の箱世界をワークショップ室の備え付け棚を使ってつなげた。</p> <p>年齢幅によって出来ることが違ったが、それぞれの親子が世界を作る楽しさを味わっていた。</p> <p>当日キャンセルが出たことから開始の対応など苦労したが、1日目を踏まえ、2日目はより積む楽しさを追求した内容となった。</p>	

(2) ワークショップ春【美術の基本】

「美術の基本」を全体のテーマとするのは、平成28年度に続き2回目。画材や素材への興味を引き出し、創造へとつなげていく内容や、知っているようで知らない、または知る機会がない「美術」のあれこれを取り上げたセミナーやワークショップを開催した。

①	講座名	ワークショップ 「紙っておもしろいぞ ペーパーファンタジー かめの小箱」	  <p>参加者が持参した飾り用の紙で個性豊かに作品が出来上がった。</p>
	実施日時	令和5年2月19日(日) 11:00～16:30	
	講師	広井敏通(ペーパーアーティスト)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	小学3年生以上、事前申込制、15名	
	参加者	7人(申込8人)	
	内容	<p>当館収蔵品のトイの作者である広井敏通氏をお招きし、「紙」の魅力を感じながら、手のひらサイズのかめの箱を制作するワークショップを開催した。</p> <p>紙は平面から立体へ加工しやすい身近な素材だが、展開図をじっくり考え、紙の特性と向き合ってみる作業は参加者にとって新鮮な作業だったようで、皆熱中して取り組んでいた。</p>	
※ 令和4年8月14日開催予定で中止となったプログラムを、ワークショップ春の事業として開催したもの			
②	講座名	画材の実験室「すみをさわる、作る、えがく」	 <p>最初に展示室へ行って、木炭が使われている作品を中心に、皆で鑑賞した。</p>  <p>ぶどう、りんご、アカマツ、くるみ等、計15種類の枝から好きなものを選び、アルミホイルで包んで熱して、木炭を作った。</p> <p>木の種類によって異なる描き味や描き心地を体感した。</p> 
	実施日時	<p>[木炭編] 令和5年3月14日(火)、16日(木)、18日(土) 各日 13:00～16:00</p> <p>[墨編] 令和5年3月15日(水)、17日(金)、21日(火・祝) 各日 13:00～16:00</p>	
	ナビゲーター	目黒区美術館学芸員、メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)他	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	延べ142人 3月14日:8人、15日:9人、16日:20人、17日:11人、 18日:42人、21日:52人	
	内容	<p>当館オリジナル教材「画材と素材の引き出し博物館」を鑑賞して、実際に画材を「お試し」できるプログラム。</p> <p>今回は「すみ」にクローズアップし、木炭の日と墨の日を日替わりで5日間設定した。</p> <p>木炭編では、木炭を手作りして木の種類によって違う描き心地や、濃淡のつけ方、消え方などを実験し、墨編では、いろいろな墨色を比べて濃淡やにじみなどの特性を実験した。</p> <p>参加者は実際に手に触れることでそれぞれの画材の特性を学んだ。</p> <p>今回は区内の中学校の美術部や、学童保育クラブ等の団体参加を積極的に呼びかけたことで、より多くの区民の方々に参加いただけた。学校や家では得られない体験の機会を提供できた。</p>	

③	講座名	画材の実験室:特別編 「手作り木炭であそぼう」	  <p>好きな木の種類を選んで木炭を作り、のびのびと描いた。</p>
	実施日時	令和5年3月19日(日) 13:00~16:00	
	講師	森本玄(画家、京都芸術大学教授)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	小学1年生以上、事前申込制、15名	
	参加者	13人(申込32人)	
内容	<p>「画材の実験室」で取り上げる「木炭」を作り、木の種類によって異なる描き心地などを、講師と共にじっくり味わうプログラム。</p> <p>手で遊ぶように線を引き、面でぼかして描いた他、向かい合った人の顔を描く他画像にも挑戦。各人の描いた紙をつなげて1本の道を作り、そこから想像する街も描いた。他の木の木炭も試してみたかったという感想も見られ、木炭の魅力に触れた1日となった。</p>		
④	講座名	オンラインで美術館 「うちんち！ぺちやくちやミュージアム」	  <p>開館前だからこそできる作品を学芸員が手にもって解説したりなど、美術館の秘密なども伝えられた。</p>
	実施日時	令和5年3月11日(土)、12日(日) 各日 9:30~10:00 ※2日間コース	
	講師	メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子、澤村幸子)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	小学3年生以上、事前申込制、10名	
	参加者	11日6人(申込6人)、12日4人(申込6人)	
内容	<p>コロナ禍で外出を控える方や、子育てや介護などで出かけることが難しい方が多いことから発案されたオンラインのギャラリーツアー。</p> <p>今回は、「1970年代以降の作品を中心に」展を鑑賞した。開館前の展示室を中継するなど、参加者が家にいながらにして美術館を楽しめる内容とした。</p> <p>短時間のプログラムだが、アンケートでは開館前の裏側を見ることができて嬉しかったという声もあった。</p>		

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

これまで学校単位の受入れにより鑑賞教育を実施してきたが、近年、学校での美術の授業時間の確保が困難となってきたため、実施数が減少していた。そこで、今年度は学童保育クラブや美術部などに働きかけ、多くの児童・生徒に来館してもらった。

No.	展覧会名等	学校・団体名	開催日	学年	参加者
①	東京・区立美術館ネットワーク連携事業「東京の猫たち」	下目黒小学校	令和4年5月6日(金)	5年生	64人
②	コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た ー作品収集のあゆみー	めぐろキッズレポーター	令和4年10月16日(日)	4～6年生	12人
③	コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た ー作品収集のあゆみー	烏森小学校	令和4年10月25日(火)	3年生	67人
④	コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に、 画材の実験室	下目黒小学校内 学童保育クラブ	令和5年3月14日(火) 17日(金)	1～3年生	14日:15人 17日:15人
⑤	コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に、 画材の実験室	大鳥中学校美術部	令和5年3月14日(火)	1、2年生	19人
⑥	コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に、 画材の実験室	三田学童保育クラブ	令和5年3月15日(水)	1～3年生	8人
⑦	コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に、 画材の実験室	Dreams	令和5年3月18日(土)	1～4年生	22人

(2) トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム (TVT) 運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラム

①	講座名	トイの日	 <p>以前のトイの日の形式に近い形で開催することができた。</p>  <p>少人数だからこそ可能な窓ガラスを使った遊びのコーナーも設置した。</p>
	実施日時	令和4年10月30日(日)、11月3日(木・祝) ①10:30～12:00、②12:30～14:00、③14:30～16:00	
	進行	トイコレクションボランティアチーム<TVT>	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	マスクを着用できる幼児以上、各日各時間とも35名まで	
	参加者	[10月30日] ①12組31人(申込14組)、②6組16人(申込12組)、 ③12組31人(申込13組) [11月3日] ①13組35人(申込13組)、②8組24人(申込13組)、 ③9組31人(申込11組)	
内容	トイコレクションボランティアチームによるトイコレクションを活用したプログラム。 例年「トイの日」は自由参加としていたが、感染症対策として事前申込で1日3回の時間制とし、マスク着用ができる幼児以上を対象とした。 親子での参加が多かったが、保育関係者やデザインを学ぶ学生など、一般の参加もあった。積木やパズルなどコーナー分けされたトイで時間いっぱい楽しむ様子が見られた。		

②	講座名	アウトリーチ「作ってみよう、つみきでお気に入り」	
	実施日時	令和5年2月25日(土) 13:00～15:30	
	進行	トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	会場	目黒区民センター児童館	
	対象・定員	2歳以上の未就学児とその保護者 30名まで	
	参加者	14組 30人	
	内容	<p>トイコレクションボランティアチームが美術館外で行うアウトリーチプログラム。</p> <p>コロナ禍により3年ぶりの開催となった。児童館の未就学児対象の「乳幼児のつどい」の講座として開催した。参加者それぞれのお気に入りの動物や建物などをトイで作り、最後に残ったトイを使ってつなげ、会場全体をダイナミックに使ったプログラムとなった。</p>	



久々のアウトリーチだったが、のびのびと沢山のトイを使ってそれぞれの「お気に入り」を作りあげていた。

(3) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が昭和41(1966)年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム

① ④	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		
	進行	目黒区美術館建築ガイドスタッフ		
	開催日 (各日 14:00～15:30)	① 4月29日(金・祝)	23人(申込 144人)	
		② 5月7日(土)	21人(申込 88人)	
		③ 5月20日(金)	24人(申込 153人)	
		④ 5月28日(土)	21人(申込 228人)	
	対象・定員	中学生以上、各回20名(抽選)		
	料金等	参加費:600円		
参加者	延べ89人			
内容	<p>3年ぶりの開催となった今回は、令和3年度に耐震補強工事を終えた南口エントランスホールや照明器具が補修された螺旋階段を中心に小グループに分かれ、当館ボランティア建築班の案内でツアーを行った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染症対応で行政利用中の「和室」「茶室」など一部の見学ができない代わりに、祝休日は施錠されている「渡り廊下」や、一般の方は普段見られない場所などを全日程でルートに加える工夫をした。今回は、催行グループ・定員を絞っての開催となったが、各回多数の応募があった。</p>			



ツアー風景

(4) 美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の实地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した数々の貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語る館長トーク等、幅広く美術に関する連続講座等を開催した。

① ② ③	講座名	目黒区美術館館長トークVII 「インドが目黒にやって来た － 発見！インド仏教美術」	 <p>実施風景(ワークショップ室)</p>
	講師	秋山光文(当館館長)	
	開催日と テーマ	① 令和4年10月16日(日) 13:30～14:30 聖獣たちの形－アショーカ王柱の諸作例	
		② 令和4年10月16日(日) 14:45～15:45 ブッダの姿が見えない仏伝図－仏教美術の始まり	
		③ 令和4年10月16日(日) 16:00～17:00 初めて見るブッダ像－仏像の出現と展開	
	対象・定員	高校生以上 35名	
	参加者	29人	
内容	館長による美術講座の第7弾。インド仏教美術の発祥から今日の仏像文化までの流れを、3部構成で時代を追って解説。 インドの長い歴史の中で、仏教美術におけるブッダの描写の展開に伴い、造形活動も本格化したことを、豊富なスライドで概観した。		

4 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度から実習を受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。令和4年度は8人の学生を受け入れた。

【4年度受入実施校】

青山学院大学、お茶の水女子大学、多摩美術大学、東京家政大学、東京工芸大学、日本大学、日本女子大学、八洲学園大学 各1人

(2) 広告事業等 (件数等広報一覧詳細については後掲「補足資料4」参照)

① 広報事業

- 1 当館ウェブサイトを随時更新
- 2 Facebook、twitter、Instagram、メルマガ会員情報配信
- 3 YouTube 公式ページ動画配信
- 4 めぐろ区報、目黒区ホームページ
- 5 プレスリリース、ポスター・チラシの発送
- 6 新聞掲載
- 7 JR 目黒駅広告看板掲出・通年 (ポスター)
- 8 近隣商店会 (7商店会) へのチラシ配布協力依頼
- 9 ミューぼん (スマートフォンアプリ) 利用
- 10 駅貼り広告

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

令和4年度も前年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。

ぐるっとパスは1冊2,500円で購入可能であり、パス所持者は当館へ無料で入館することができる。

実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者
4年度	101館	100冊 (33,111冊)	4,567人 (255,867人)
3年度	99館	99冊 (16,956冊)	3,114人 (140,184人)

※ 上段は目黒区美術館、()内は全体数[参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計]

③ 報告書作成

展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.35 [東京・区立美術館ネットワーク連携事業「東京の猫たち」つながりをふりかえる]

令和4年9月9日発行

No.36 [ワークショップ 2022 夏「おもちゃ箱・道具箱」同時開催 目黒区美術館開館35周年記念展

美術館はおもちゃ箱・道具箱]

令和5年2月17日発行

No.37 [コレクション解体新書 I 「フジタが目黒にやって来たー作品収集のあゆみー」]

令和5年2月17日発行

No.38 [35歳になった目黒区美術館]

令和5年3月17日発行

第2 受託事業（定款第4条第1項第2号）

1 指定管理事業展覧会

(1)	展覧会名	コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来たー作品収集のあゆみー		 1階 エントランスホール  展示風景(A 展示室)  ミュージアムコンサート 実施風景
	会 期	令和4年10月8日(土)～11月20日(日) (38日間)		
	観 覧 料	一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)		
	入 館 者	6,429人		
	展示概要	<p>開館35周年を記念し、長年にわたる当館の作品収集の歴史を振り返った。1981年度第1回資料収集委員会で収得が承認された藤田嗣治《動物群》を本展のメインビジュアルに据え、展覧会タイトルには、本作を皮切りに当館のコレクション形成が始まったという意味を込めた。</p> <p>現在約2,500点に上る収蔵作品より、当館の収集方針に沿った代表的な作品や、展覧会の開催を機に収集に至った作品を中心に展示した。併せて、そもそも美術館の収蔵品とは何か、作品はどのように収集されるのかといった、コレクション形成の仕組みについても解説パネルで紹介した。</p> <p>展示を鑑賞する中で、作家や作品についてのみならず、美術館の舞台裏や当館のこれまで歩んできた道のりも知っていただけの内容の展示となった。</p>		
関連催事	1	<p>ミュージアムコンサート ーパリを歩く avec Fujitaー 出演：村田正樹(タップダンサー)、菅野淳史(トランペット)、オオサキゲンタ(ギター)、白石美徳(ドラム) 開催方法、定員：対面、チケット制、35名程度 開催日：令和4年11月6日(日) ①13:00～14:00 ②15:00～16:00 参加者：①35人、②36人 内容：パーシモンホールとの共同イベント。藤田嗣治をはじめ多くの日本人画家がフランスで活動した20世紀初頭のパリの街角を、藤田とともにめぐり歩くことをコンセプトとし、当時の情景を思い起こさせるジャズナンバーに合わせて、藤田に扮したダンサーの村田正樹がタップダンスを披露した。 会場には、当館所蔵の藤田嗣治による版画作品《自画像》と《裸婦と猫》を特別に展示した。 来場者は、時折手拍子を交えながら、タップと音楽と絵画のコラボレーションを楽しんでいた。</p>		

	2	<p>大人のための美術カフェ コレクション解体新書Ⅰ 「フジタが目黒にやってきたー作品収集のあゆみー」 開催日:令和4年11月19日(土) 14:00~14:30 開催方法、定員:当日先着35名 参加者:28人 ナビゲーター:菅田あゆみ(当館学芸員) 内容:本展の趣旨や見どころのほか、学芸員の目線で特に紹介したい作家や作品について解説した。 今回も感染症対策のため、展示室を巡るギャラリートークではなく、スライドトーク形式とした。</p>	 <p>実施風景</p>
	広報実績	<ul style="list-style-type: none"> 産経新聞「東京プラス」 令和4年10月21日 読売新聞「TOKYO ウィークエンド」 令和4年10月28日 じゃらん net、JR他各WEBサイト「おでかけ情報」 令和4年9月14日公開 美術展ナビ/ぴあアプリ(WEB) 令和4年10月5日公開 	
(2)	展覧会名	めぐろの子どもたち展	
	会 期	令和5年1月18日(水)~2月2日(木) (14日間)	
	観 覧 料	無料	
	入 館 者	10,575人	
	展示概要	<p>目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会を開催した。</p> <p>本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。</p> <p>本年は「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」と「中国北京市東城区児童・生徒書画展」の同時開催を予定していたが、後者については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中国からの作品の輸送ができなくなったため中止となった。</p> <p>作品数:3,982点</p>	

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品

寄贈・寄託作品の件数=0件

(2) 作品貸出

作品貸出の件数及び点数=13件13点

① 1件1点

香月泰男「修理」

展覧会名:生誕110年 香月泰男展

貸出館:宮城県美術館、神奈川県立近代美術館葉山、新潟市美術館、練馬区立美術館、足利市立美術館

会 期:[宮 城] 令和3年7月3日~9月5日

[神奈川] 令和3年9月18日~11月14日、

[新 潟] 令和3年11月27日~令和4年1月23日

[練 馬] 令和4年2月6日~3月27日

[足 利] 令和4年4月5日~5月29日

貸 出:令和3年6月22日~令和4年6月3日

※ 令和3年度から4年度にまたがる巡回展

② 5件5点

川村清雄「村上彦四郎（村上義光錦御旗奪還図）」

川村清雄「梅に雀」

川村清雄「小督」

川村清雄「三色すみれ」

川村清雄「朝顔につるべとられてもらい水」

展覧会名：「初代尼崎市長櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄」

貸出先：尼崎市立歴史博物館

会場：尼崎市立歴史博物館

会期：令和4年10月1日～11月30日

貸出期間：令和4年5月25日～12月8日

③ 3件3点

古茂田守介「工房」

古茂田守介「三人」

古茂田守介「母子」

展覧会名：「第85回新制作展『時代を担ってきた作家たち2022』」

貸出先：新制作協会

会場：新国立美術館

会期：令和4年9月21日～10月3日

貸出期間：令和4年9月7日～10月6日

④ 4件4点

岡鹿之助「信号台」

満谷国四郎「ブルターニュ」

中村義夫「ブルターニュの女」

藤田嗣治「トランク（遺品）」

展覧会名：「憧憬の地 ブルターニュモネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷」

貸出先：国立西洋美術館

会場：国立西洋美術館

会期：令和5年3月18日～6月11日

貸出期間：令和5年3月2日～6月下旬（予定）

(3) 資料貸出

資料貸出の件数及び点数＝2件2点

① 2件2点

中村義夫旧蔵「ワードローブ・トランク」

中村義夫旧蔵「トランク（木製）」

展覧会名：「憧憬の地 ブルターニュモネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷」

貸出先：国立西洋美術館

会場：国立西洋美術館

会期：令和5年3月18日～6月11日

貸出期間：令和5年3月2日～6月下旬（予定）

3 区民ギャラリーの貸出（利用状況については後掲「補足資料3」参照）

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は、年間で95.0%となり（3年度は80.7%）、キャンセル数も2件（3年度は13件）のみでコロナ禍以前の利用率に戻ってきた。

空き状況については従来の当館ウェブサイトでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、SNS上に配信した。

その他業務（保守メンテナンス含む）については、

- ① 毎年行っている展示壁のクリーニング及び保守点検を行った。
- ② ベアリング（壁の軸受）の交換を行った。（一部）
- ③ 区内新規利用者開拓のため、区内各施設へ利用案内を送付した。
- ④ 備品類（ワイヤー交換、スポットライト点灯確認）のメンテナンス作業を行った。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料収納実績	利用率	入館者
4年度	576面	5,720,750円 (5,206,250円)	95.0%	延べ 30,207人
3年度	402面	4,067,000円 (3,675,000円)	80.7%	延べ 23,716人

※ 利用料金収納実績は還付後の金額である。

上段は収納日の年度の合計、()内は当該年度の決算数値である。

※ 令和4年度のキャンセルが生じなかった場合の利用率は、98.0%である。

【利用者アンケートから】

① 職員対応（利用案内等）

年度	良い	普通	悪い
4年度	49件 (90.7%)	5件 (9.3%)	0件 (0%)
3年度	26件 (92.9%)	2件 (7.1%)	0件 (0%)

② 展示のしやすさ

年度	良い	普通	悪い
4年度	42件 (77.8%)	12件 (22.2%)	0件 (0%)
3年度	15件 (55.6%)	12件 (44.4%)	0件 (0%)

4 その他の受託事業

(1) めぐるオータムアート

目黒区との共催事業。めぐるパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

①	講座名	第10回 音楽と美術のワークショップ 「音から絵へ、絵から音へ ～音楽を聴いて大きなキャンバスに絵を描こう～」	 <p>実施風景</p>
	講師	榎本寿紀(美術家) 鈴木広志(サクソフォン/作曲家) 田中庸介(ギター/作曲家) 小林武文(ドラム・パーカッション/作曲家)	
	開催日	令和4年10月22日(土) 11:00～16:00	
	実施場所	めぐるパーシモンホール	
	対象・定員	小学生以上・20名 (事前申込制)	
	参加者	22人	
	内容	<p>出演者が奏でる音楽を聴きながら、大きなキャンバス(画用紙)に絵を描くワークショップ。講師には、現在は大分県立美術館で教育普及活動に従事し、過去には当館でワークショップ・エドゥケーターを務めた榎本氏を迎えた。</p> <p>参加者は音を聴きながら色や形をイメージし、各々自由に紙の上に表現し、出演者はその絵からインスピレーションを受けて作曲・演奏した。</p> <p>参加者と出演者の双方向のコミュニケーションにより、絵画と音楽の生まれる瞬間を全員で体感した。完成した作品は、パーシモンホールのプラザ地下1階に1週間程度展示した。</p>	
②	講座名	目黒建築めぐり塾【講演会】 「タイルの目線で建築を楽しむ ～日本のタイル100年の歩き方～」	 <p>実施風景</p>
	講師	加藤郁美(タイル研究家)	
	開催日	令和4年10月23日(日) 14:00～16:00	
	実施場所	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	中学生以上・35名 (事前申込制)	
	参加者	28人	

	内 容	<p>明治から昭和にかけて最盛期を迎えた洋風建築の需要に伴い、大量生産が可能な工業製品として建材用タイルが多く生み出された歴史的背景や、各時代におけるデザイン等の変遷について講演いただいた。</p> <p>参加者は、豊富な写真資料や、講師の持参した実物のタイルを通して、その世界の奥深さや魅力に終始惹きつけられているようだった。</p>	
③	講 座 名	目黒建築めぐり塾【現地見学&レクチャー】 旧前田家本邸の泰山タイル ～宮内庁御用達の美	 <p>実施風景</p>
	講 師	加藤郁美(タイル研究家)	
	開 催 日	令和4年11月12日(土) 13:30～15:30	
	実施場所	旧前田家本邸 洋館・和館	
	対象・定員	中学生以上・15名 (事前申込制)	
	参 加 者	19人	
	内 容	<p>旧前田家本邸の建築には、「泰山タイル」と呼ばれる陶製の美しい装飾タイルが使われている。1917年に京都で創業の「泰山製陶所」が生み出したタイルは、美術工芸品とも謳われ、宮内庁の格式高い建築や、歴史的建造物に多く用いられてきた。</p> <p>本講座では、旧前田家本邸の「泰山タイル」を見学した後、和館の一室に集合し、同様のタイルが使われている建築物などの写真をスライド投影しながら、「泰山タイル」の魅力について講演いただいた。普段は一般公開されていない、洋館の裏手にある噴水塔も特別に見学することができ、参加者からも好評であった。</p>	
④	講 座 名	東大駒場キャンパスの歴史を学ぶ+駒場博物館	 <p>実施風景</p>
	講 師	折茂克哉(東京大学大学院教養学部駒場博物館助教)	
	開 催 日	令和4年11月5日(土) 10:00～12:00	
	実施場所	東京大学駒場 I キャンパス、東京大学駒場博物館	
	対象・定員	中学生以上・20名 (事前申込制)	
	参 加 者	11人	
	内 容	<p>前年は感染対策として、オンライン講座での開催となったが、今回は3年ぶりに実地での見学ツアーを行った。</p> <p>事前に配布した旧制第一高等学校時代の豊富な写真資料等を参照しながら、現在のキャンパスを巡り歩いた。構内の様々な建築物やモニュメント、紋章にまつわる解説を通して、東大駒場キャンパスの成り立ちや、学内の歴史資産に親しむことのできるプログラムとなった。</p>	

第3 その他事業（定款第4条第1項第4号及び第4条第2項）

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

（1）区展（区民作品展）への協力

会期：令和4年9月14日（水）～25日（日）（11日間）

（2）区内美術4団体への協力

- ① 目黒区写真美術協会展（協会都合により実施無し）
- ② 目黒区書作家協会展（会期：令和4年5月18日（水）～22日（日））
- ③ 目黒区美術家協会展（会期：令和4年6月22日（水）～26日（日））
- ④ 目黒区美芸作家協会展（会期：令和5年3月21日（火）～26日（日））

（3）区内等中学校・高等学校への協力

- ① 都立つばさ総合高等学校職業人インタビュー（令和4年11月10日（木））
- ② 目黒区立目黒中央中学校職場体験（令和5年1月18日（水）～20日（金））
- ③ 目黒区立第八中学校職場体験（令和5年1月25日（水）～27日（金））
- ④ トキワ松学園中学校職場見学会（令和5年2月7日（火））

（4）視察、研修等の受入れ

- ① 目黒区教育委員会小学校図工部員24人（令和4年5月11日（水））
- ② 跡見女子学園大学 博物館教育論履修者10人（令和4年5月29日（日））
- ③ 東京造形大学 博物館実習履修者22人（令和4年6月7日（火））
- ④ 港区教育研究会図工部研究授業・研究会9人（令和4年8月2日（火））
- ⑤ （公財）日本建築家協会目黒地域会会員及び区内在住者20人（令和4年12月17日（土））

2 危機管理体制

消防計画や事象別危機管理対応マニュアルをもとに、館をとりまく様々な災害等を想定し、職員一同日頃より情報共有に努め、日常的な点検をはじめ緊急時等に備えている。令和4年度の主な対応は以下のとおりである。

（1）新型コロナウイルス感染症対策

日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をもとに、「入場者の誘導」、「手洗いの徹底や手指の消毒設備の設置」、「マスクの着用の要請」等を行うほか、3つの密を避け、人と人との距離を適切にとるなど、感染対策を行った。

具体的には、清掃・消毒の徹底、受付や展示室の入口等に行列ができないように、間隔を空けた整列を促すほか、受付等のアクリル板の設置、検温などの対策を行った。

（2）防火・防災対策

令和5年1月26日（木）に震災を想定した避難訓練を実施した。訓練は目黒消防署指導のもと、目黒区美術館消防計画に基づき職員・監視員・受付スタッフが参加して行った。併せて消防署員よりAEDの使用方法の指導を受けた。

（3）衛生管理

ラウンジ（喫茶コーナー）の運営にあたっては、職員の指導のもとボランティアスタッフによる手洗いの励行、定期的な清掃、材料の衛生管理など食中毒の予防に努めた。

(4) 監視員研修

展覧会開催時の監視員に対し、展覧会毎に避難誘導、急病者、不審者等への対応について事前説明を行うほか、事例別の特別研修会を行った。

具体的には「お客様が転倒し作品にぶつかった拍子に作品が破損してしまった事故」と「不審な行動を繰り返すお客様への対応」を学芸係長と管理係長が講師となって指導するなど、不測の事態に備えた。

3 ボランティア活動

ボランティア会員96人（令和5年3月31日現在）が、5班（ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班）に分かれ、コロナ禍において可能な範囲で美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として、毎年開催していたバスツアーは、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いていることを踏まえ3年ぶりに実施し、MOA美術館（静岡県熱海市）を訪れ、47人が参加した。

毎年、年度末に開催しているボランティア総会については、令和5年3月25日（土）に開催した。

① ラウンジ班

席を間引いてではあるが年間を通して通常の喫茶営業ができた。延べ184日（区展含む）のラウンジ運営に協力した。

② トイコレクション班

「美術館はおもちゃ箱・道具箱」展会期中の土日に実施した「トイプレイコーナー」の活動に協力した。「つくってみよう つみ木でお気に入り」と題し、3年ぶりに対面でのアウトリーチ活動を再開できた。前年度に引き続き感染症対策を講じながら「トイの日」（2回）の準備・実施に協力した。

③ 建築班

3年ぶりに目黒区総合庁舎建築ガイドツアーが実施され、協力した。（計4回）

④ 広報班

「美術館はおもちゃ箱・道具箱」展、「フジタが目黒にやって来た」展、令和5年度展覧会「ベルギーと日本」展の発送作業に協力した。

⑤ 資料整理班

展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

4 収益事業等（ミュージアムショップ、ラウンジ運営）

(1) ミュージアムショップ（通年）での取組

- ① 定期的に商品ラインナップの入れ替えを行い、リピーター利用者が飽きないように工夫をした。
- ② 各展覧会に関連した書籍やグッズ等を販売し、手数料収入を得た。
- ③ 開館35周年を記念して作成したロゴを使い、ラウンジで提供しているコーヒーを自宅でも楽しんでいただけるよう館オリジナルドリップコーヒーを制作し、2個セットで販売した。累計358個売り上げた。

- ④ 開館35周年を記念して「過去図録市」を開催した。5回目となる今回は、35周年に因み図録の価格を350円均一とし（一部を除く）、「フジタが目黒にやって来た」展で1,794冊販売し、図録市史上最高の売上となった。（過去の売り上げは300～400冊程度）

また、第5回過去図録市が好評且つ再実施の要望もあったため、第5回過去図録市の第2弾を「1970年代以降の作品を中心に」展においても行ったところ、1,096冊販売した。

なお、過去図録市はウェブサイトから簡単に申し込み可能な通信販売でも実施し、遠隔地の方に好評であった。（電話、FAX申し込みも可）

【区立美術館ネットワーク連携事業 東京の猫たち】展

- 出品作品のポストカード12種をまとめたブックレットを作成し、607冊売り上げた。
- 広報印刷物用として作成した猫の図柄入りのオリジナルサコッシュを作成し、612個売り上げた。
- 「猫」に因んで静岡のお茶メーカーから「ねこ茶」と「ね紅茶」（ティーバッグの持ち手部分が猫の形になっているもの）を仕入れ、合計591個売り上げた。
- 本展出品館の各種商品（ポストカード、付箋、ファイル等）の委託販売を行った。

【目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱】展

- 展覧会の名称に因み、箱に作品の説明を記した冊子とカード18枚とシールを入れ、図録として販売した。
- 本展キャラクターである「みつめてくん」のバッジとシール（図録のものと同じ）を作成し、販売した。

【コレクション解体新書Ⅰ フジタが目黒にやって来た】展

出品作品である藤田嗣治や高島野十郎の所蔵作品ポストカードを作成し、合計1,788枚を売り上げた。

【コレクション解体新書Ⅱ 1970年代以降の作品を中心に】展

本展会期中に「過去グッズ市」をはじめ開催した。これまで作成してきた目黒区美術館のオリジナルグッズ（ポストカード、クリアファイル、トートバッグ等）を開館35周年に因み、定価の35%オフで販売し、「過去図録市」と同様好評を博した。

（2）ラウンジでの取組

- ① 「区立美術館ネットワーク連携事業 東京の猫たち」展では、ミュージアムショップでも販売した「ねこ茶」と「ね紅茶」をラウンジでも提供した。2種合計で220杯の販売実績となった。
- ② 「目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱」展では、100%桃果汁の「青森の桃」と桃果汁入り炭酸飲料「ピーチシャワー」を提供した。2種合計で119杯の販売実績となった。ラウンジで飲んでいただき、気に入った来館者が持ち帰りされる事も多く、持ち帰りの実績は2種合計で149本となった。
- ③ 「フジタが目黒にやって来た」展では、秋の開催に合わせて「栗の和の紅茶」を提供したところ、大変人気で347杯の販売実績となった。また、持ち帰り用にも販売したとこ

ろ178個売り上げた。

- ④ 「1970年代以降の作品を中心に」展では、秋に好評だった栗の紅茶のメーカーから「桜葉の和の紅茶」を入荷し、販売したところ148杯の販売実績となり、持ち帰り用は57個売り上げた。

令和4年度 展覧会事業実施状況

区分		東京の猫たち	美術館はおもちゃ箱・道具箱	フジタが目黒にやって来た	めぐろの子どもたち展	1970年代以降の作品を中心に	計
会期	期間	4.23～6.12	7.9～8.28	10.8～11.20	R5.1.18～2.2	R5.2.18～3.26	
	日数	44	44	38	14	32	172
入館者（人）	目標	11,000	3,500	3,000	10,000	2,500	30,000
	実績	9,600	4,704	6,429	10,575	2,339	33,647
有料		5,709	1,935	3,054	0	1,001	11,699
一般（下記以外）		4,312	1,558	1,683	0	722	8,275
高校・大学・高齢者		1,397	377	1,371	0	279	3,424
無料		3,891	2,769	3,375	10,575	1,338	21,948
招待券		1,351	896	1,148	0	466	3,861
ぐるっとパス		1,653	746	1,572	0	595	4,566
障がい者		316	129	229	0	85	759
幼児・小・中学生		399	916	116	0	87	1,518
小学生ギャラリートツアー		64	0	67	2,218	79	2,428
その他（ピリエ会員等）		108	82	243	8,357	26	8,816
入館者割合（％）	有料	59.5	41.1	47.5	0	42.8	34.8
	無料	40.5	58.9	52.5	100	57.2	65.2
1日当たり入館者（人）		218	107	169	755	73	196
入館料収入（円）		4,113,635	1,244,050	1,842,490	0	645,080	7,845,255

※ 「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数である。

※ 「フジタが目黒にやって来た」展については区民無料数185人を含む。「めぐろの子どもたち展」については一般入館者数である。

※ 「ぐるっとパス」については、受付の日計表とあわせて「無料」の区分としているが、実際の取扱いについては、88ページのとおりである。

令和4年度 展覧会入館者数等の推移

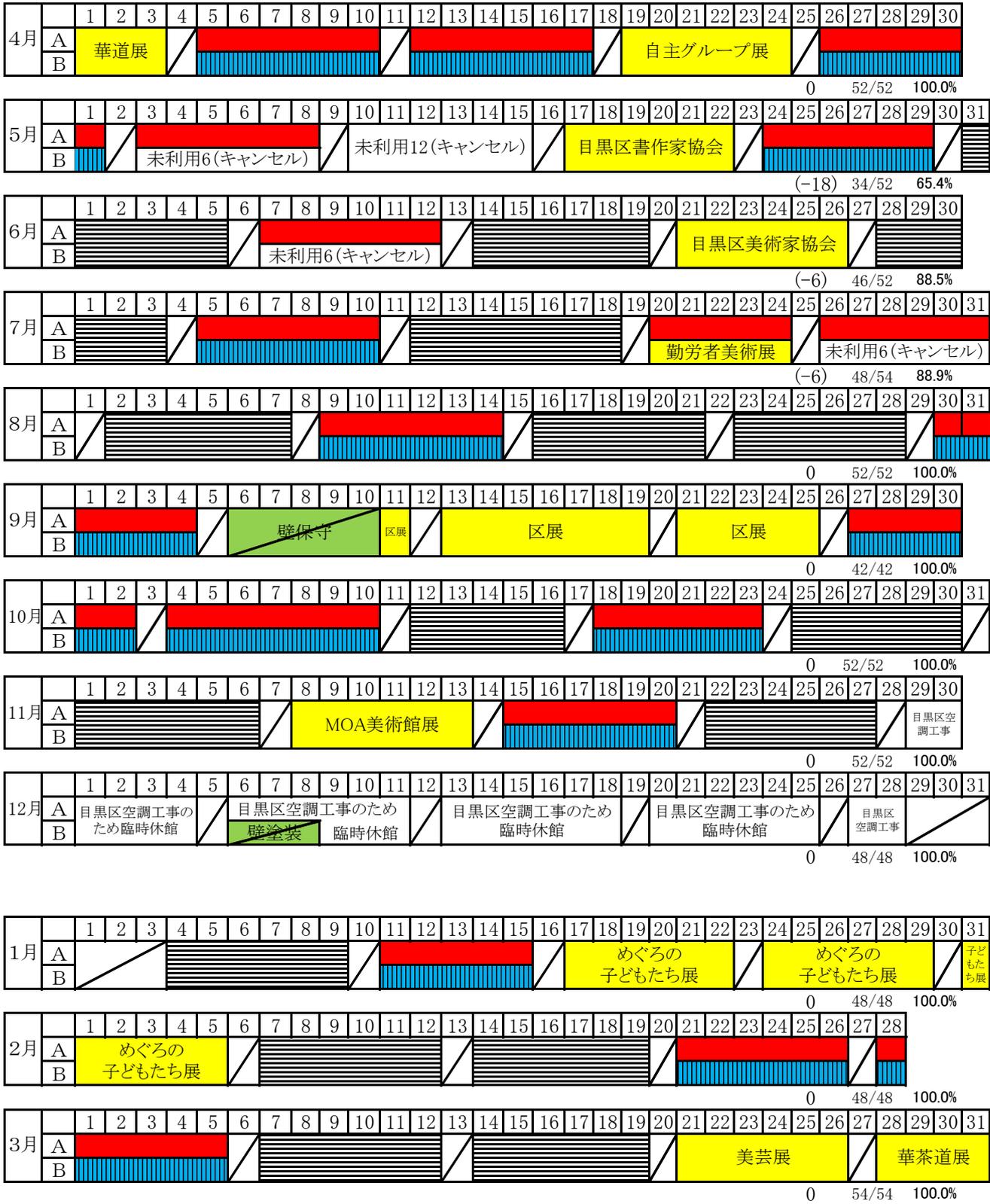
区分		令和4年度	令和3年度	前年度比較		
展覧会事業	事業数	5	6	△ 1	※①	
	開館日数	172	166	6		
	入館者(人)	有料	11,699	15,231	△ 3,532	
		無料	21,948	20,188	1,760	
		合計	33,647	35,419	△ 1,772	
観覧料(円)	7,845,255	10,841,340	△ 2,996,085			
教育普及事業(ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ	開催数(回)	9	5	4	※②
		参加者(人)	404	157	247	
	ギャラリーツアー	開催数(回)	7	1	6	
		参加者(人)	222	54	168	
	トイコレクション(アウトリーチ)	開催数(回)	1	0	1	
		参加者(人)	30	0	30	
	トイの日	開催数(回)	6	3	3	
		参加者(人)	168	40	128	
	庁舎建築ガイドツアー	開催数(回)	4	0	4	
		参加者(人)	89	0	89	
	デザインキャンプ	開催数(回)	0	0	0	※③
		参加者(人)	0	0	0	
	館長美術講座	開催数(回)	3	2	1	
		参加者(人)	29	38	△ 9	
	大人のための美術カフェ	開催数(回)	4	2	2	
		参加者(人)	110	60	50	
	合計	開催数(回)	34	13	21	
参加者(人)		1,052	349	703		

※① 令和3年度は例年より1事業多かった。

※② 新型コロナウイルス感染症の影響により1事業中止した。

※③ 共催者の都合により中止した。

令和4年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



全体 (-30) 576/606 95.0%

- 凡例
- A面のみ利用
 - B面のみ利用
 - 全面利用
 - 共催、後援事業
 - 保守、補修等
 - 休館日

令和4年度 広報一覧

広報内容	種別	広報手段	件数等		備考		
館総合・各展覧会・ワークショップ等	美術館発信	当館ウェブサイト	528,440件(R4)		全体アクセス数		
			519,190件(R3)				
		メールマガジン	19件	登録者数：489人(前年度比+56人)		事業毎	
		twitter	97件	フォロワー数:20,801人(前年度比+3,035人)		事業毎	
		Facebook	56件	フォロワー数:1,707人(前年度比+175人)		事業毎	
		Instagram	87件	フォロワー数:1,388人(前年度比+340人)		事業毎	
		YouTube	10動画	チャンネル登録者数:158人(前年度比+34人)		令和2年度開始	
		プレスリリース送付			約300件	各展覧会毎	
		ポスター・チラシ送付			約700件	各展覧会毎	
	区協力	めぐろ区報			通年		
		目黒区ウェブサイト			通年		
	ぐるっとバス事業参加(有料:分担金)				通年		
	有料広告	JR目黒駅広告看板掲出				通年	
		新聞掲載(毎日新聞)	4/27、5/31(東京) 4/29、5/31(神奈川)	48件	2件(都内・神奈川版 5段カラー)		東京の猫たち
			4/16、21、24 5/1、3、4、5、8、13、14、22、26、27、28		14件(都内 突き出し)		
			5/28		1件(神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・山梨 連合1pカラー)		
			7/15、8/4(東京) 7/8、8/4(神奈川)		2件(都内・神奈川版 5段カラー)		美術館はおもちゃ箱・道具箱
			7/2、9、10、14、16、18、23、31 8/6、7、11、14		12件(都内 突き出し)		
			10/10(東京) 10/10(神奈川)		1件(都内・神奈川版 全5段カラー)		フジタが目黒にやって来た
			10/8、9、15、20、23		5件(都内 突き出し)		
2/17(東京) 2/17(神奈川)			1件(都内・神奈川版 全5段カラー)		1970年代以降の作品を中心に		
2/10、12、16、18、23、26 3/2、5、9、12			10件(都内 突き出し)				
毎日小学生新聞		7/20	1件	1件(3段タブロイドカラー)		美術館はおもちゃ箱・道具箱	
駅貼り広告		掲出期間:4/26-5/2	2件	2件(JR目黒駅、東急中目黒駅)		東京の猫たち	
Yahoo レスポンシブ 広告		配信期間:4/22-5/19	クリック回数	13,339回		東京の猫たち	
	配信期間:7/8-8/7	10,042回		美術館はおもちゃ箱・道具箱			
	配信期間:10/7-10/20	4,961回		フジタが目黒にやって来た			
Google レスポンシブ 広告	配信期間:2/24-3/9	クリック回数	5,438回		1970年代以降の作品を中心に		
区民ギャラリー内	美術館発信	当館ウェブサイト	528,440件(R4)		全体アクセス数		
			519,190件(R3)				
		メールマガジン	3件		空き室情報等		
区庁舎協力での	都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付						
	西口ロビーパネル展示		コロナの影響により日程調整がつかず中止				
	1階食堂近くの掲示板利用				1か所		
	文化・交流課窓口等						
	めぐろ観光まちづくり協会窓口						

IV 処務の概要

1 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 文化ホールの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 管理施設と管理物品の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第3条第2号から第6号に規定する事業に関する業務 (2) 美術館の観覧、特別観覧及び区民ギャラリーの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区文化ホールの管理運営に関する令和4年度協定書	令和4年4月1日	目黒区長	令和4年度における目黒区文化ホール管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する令和4年度協定書	令和4年4月1日	目黒区長	令和4年度における目黒区美術館管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書

2 財団運営会議の開催状況

回数	開催年月日	議題
第1回	令和4年5月11日	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書の提出及び監査依頼について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第2回	令和4年5月24日	監査報告書の提出について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第3回	令和4年9月28日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第4回	令和5年2月1日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		令和5年度第1回・第2回運営会議の会議日程について
		その他

3 理事会及び評議員会の開催状況

(1) 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	令和4年6月1日	議案第1号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第2号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について
		協議事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	令和4年10月12日	議案第3号	令和4年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第4号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		議案第5号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員会の招集について
		議案第6号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員選定委員会委員の選任について
		議案第7号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則
		議案第8号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団財産運用基準の一部を改正する基準
		協議事項	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団の次期評議員、理事及び監事の選任について(案) 令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について
		報告事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の指定管理者運営評価の結果について
第3回	令和5年2月10日	議案第9号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)
		議案第10号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)
		議案第11号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		議案第12号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団重要な職員の任免について(案)
		議案第13号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について
		議案第14号	専決処分した事項の報告及び承認について(給与規程改正)
		議案第15号	目黒区文化ホール及び目黒区美術館の特定費用準備資金の保有について(案)
		議案第16号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則
		議案第17号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部を改正する規程
		報告事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 目黒区財政援助団体等監査の実施結果について 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 新たな目黒区民センターの基本計画(素案の案)に対する意見の提出について
		書面表決	令和5年3月28日
書面表決	令和5年3月28日	議案第19号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長及び重要な職員の任用について
書面表決	令和5年3月28日	議案第20号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決議の省略の方法による評議員会の招集について

(2) 評議員会

回数	開催年月日	議案番号等	件名
第1回	令和4年6月16日 (定時評議員会)	議案第1号	令和3年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第2号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について
		協議事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
第2回	令和4年10月27日	議案第3号	令和4年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第4号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		協議事項	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団の次期評議員、理事及び監事の選任について(案) 令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について
		報告事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 令和3年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の指定管理者運営評価の結果について
第3回	令和5年2月21日	議案第5号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)
		議案第6号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)
		議案第7号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		報告事項	令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 目黒区財政援助団体等監査の実施結果について 新たな目黒区民センターの基本計画(素案の案)に対する意見の提出について

4 評議員、理事及び監事名簿

(1) 評議員

(順不同)

役職	氏名	備考
評議員	新井 篤美	日本経済新聞社社友
評議員	伊藤 昌明	目黒信用金庫理事相談役
評議員	柏谷 秀男	弁護士、税理士
評議員	塩田 純一	多摩美術大学客員教授
評議員	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
評議員	木田 左和子	昭和女子大学非常勤講師
評議員	箱守 栄一	美術品リスクコンサルタント
評議員	橋本 安男	目黒区民交響楽団副団長
評議員	宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授
評議員	植田 健二	目黒吹奏楽団団長

(令和5年3月31日現在)

(2) 理事

(順不同)

役職	氏名	備考
理事長	清水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
副理事長	山下 直純	山下寝具株式会社会長
常務理事	秋丸 俊彦	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長、パーシモンホール館長
理事	遠藤 幸子	弁護士
理事	田中 晴久	平和祈念展示資料館学芸員
理事	秋山 光文	目黒区美術館館長
理事	中屋 早紀子	声楽家
理事	渡部 弘	行政経験者
理事	秋岡 陽	フェリス女学院大学名誉教授
理事	橋 秀文	元神奈川県立近代美術館企画課長兼普及課長

(令和5年3月31日現在)

(3) 監事

(順不同)

役職	氏名	備考
監事	余語 直樹	公認会計士、税理士、社会保険労務士
監事	横田 俊文	行政経験者

(令和5年3月31日現在)